

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【254】
2. 日 時：令和4年8月23日 13時30分～17時30分
3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

齋藤安全規制調整官、忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、
植木主任安全審査官、大野主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部
（正）主任安全審査官、三浦主任安全審査官、皆川主任安全審査官、藤川
安全審査官、伊藤原子力規制専門員、谷口技術参与
技術基盤グループ 地震・津波研究部門
石田技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源土木） 他6名

電源事業本部 部長（電源建築） 他22名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 安全総括室 課長※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁のハツリです。
0:00:06	ただいまから、島根 2 号機、設工認についてヒアリングを開始いたします。
0:00:11	本日の議題は、会合案件の資料に関する事実確認となりますが、よろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:19	中国電力の内藤です。その認識でございます。よろしく申し上げます。
0:00:24	規制庁の服部です。
0:00:25	ヒアリングの進め方ですけれども、まず全体について事実確認を行った後、一旦休憩に入って、人の準備、入れ替えを行ってから土木関係の、
0:00:37	ヒアリングに入りたいと思いますのでよろしく申し上げます。よろしいでしょうか。どうぞ。
0:00:43	中国電力の内藤です。承知いたしました。
0:00:46	規制庁の服部です。それでは、中国電力側の本日のヒアリングの進め方について説明をお願いしますどうぞ。
0:00:57	中国電力の内藤です。
0:01:00	本日、まずは全体に関わります、補正の対応状況とスケジュール関係についてご説明した後、
0:01:08	土建耐震関係の主な説明事項の説明を、
0:01:13	いたします。
0:01:14	まず資料確認。
0:01:16	させていただきます。
0:01:19	資料①として、N-S2 他 005 回 08。
0:01:27	資料②として、N-Sに他 098 回 04。
0:01:34	③として、N-Sに他 072 回 04。
0:01:41	④として、N-Sに他 056 回 08。
0:01:48	⑤として、N-Sに他 07304。
0:01:53	⑥として、N-Sに他 01405、
0:01:59	07 として、N-Sに他 003 回 0、10、
0:02:06	⑧として、N-Sに他 067 回 08。
0:02:11	⑨として、N-Sに他 071 回 08。
0:02:15	すべてで九つの図書で、
0:02:20	提出日は 8 月 18 日のものになります。資料はおそろいでしょうか。
0:02:26	規制庁のハツリです。はい。資料の中の確認ができましたので、説明を始めてください。どうぞ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:34	中国電力の内藤です。それではまず全体に関わります。
0:02:40	丸。
0:02:42	10
0:02:45	50607 を持ちまして説明いたします。
0:02:52	まず、①の回答整理表からご説明いたします。
0:02:57	該当する表につきましては、
0:03:00	8 ページをお願いいたします。
0:03:09	ナンバー57 のコメントですが、
0:03:12	審査会合における主な説明事項の説明状況の一括説明という記載について、位置付けも考慮した上で記載について検討することというコメントをいただいております。
0:03:23	その回答としましては、
0:03:25	一括説明につきましては、審査の結果として整理されるものであることを踏まえまして記載を削除させていただいております。
0:03:38	資料の反映箇所は 0。
0:03:43	08 の資料の 5758 ページとなります。
0:04:02	なお一括説明に関しましては、
0:04:05	当社としては、先行プラントでの審査実績があるなど技術的に大きな課題がない項目や、設置変更許可審査時からの、
0:04:14	設計変更内容のうち軽微な項目を当社として、
0:04:18	選定させていただいておりますが、本件は、コメント回答にも記載しております通り、審査の結果として整理されるものということで、
0:04:27	審査会合終了からは削除させていただいております。
0:04:31	続きまして①の資料に戻りまして、58 ページ、5、失礼いたしました 58 番です。
0:04:40	コメント内容につきましては、
0:04:43	耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性他についてスケジュールを適正化して説明することと。
0:04:52	ことで、
0:04:53	こちらへ、
0:04:55	回答内容を記載しておりますが、
0:04:58	耐震設計の基本方針等、
0:05:01	につきましてそれぞれの項目に含まれる当社の説明期間を包絡する設備期間、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:07	となっておりませんでしたので、包絡する説明期間とするよう修正しております。後程、
0:05:13	説明工程、
0:05:16	資料⑥を用いまして説明いたします。
0:05:21	それでは紙資料 05 の説明に移ります。
0:05:35	資料⑤。
0:05:37	補正の対応状況になりますが、
0:05:39	まず 1 ページ目、右肩 1 ページ目。
0:05:43	ですが、
0:05:44	第 5 回補正、
0:05:47	の実績について、
0:05:49	反映させていただいております。
0:05:52	続きまして 0 角型の 03 ページ。
0:05:56	お願いいたします。
0:06:03	二つ目の矢羽根になりますが、
0:06:06	未提出の耐震強度計算書について、本年 9 月以降としていたところを 10 月以降と記載させていただいて、
0:06:16	表中の第 6 回補正のところ、9 月と記載していたところを 10 月中旬に変更させていただいております。
0:06:23	この変更に伴いまして、下から 2 行目の表中下から 2 行目の、耐震性に関する説明書のうち、各施設の耐震計算書、
0:06:36	について A、A、
0:06:39	前回 46 図書だったところは 60、
0:06:42	7 図書。
0:06:44	となっております。
0:06:46	そこで、訂正がございます。
0:06:50	この資料では 67 図書と記載しておりましたが、瀬、
0:06:55	しっかり精査した結果、65 図書、
0:06:58	という、
0:06:59	ことになります。大変失礼いたしました。
0:07:05	第 7 回補正につきましては、前回 32 図書と記載していたところ、
0:07:11	今の
0:07:12	この資料の記載が 11 図書ですが、ここは 13 図書になるということでございます。
0:07:19	審査会合の資料では修正いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:23	下の強度に関する説明書の強度計算書になりますが、
0:07:29	第 6 回補正のところ、前回 11 図書としていたところが 12 図書。
0:07:34	で、第 7 回補正が、
0:07:36	ゴトウショートしていたところが 4 ヶ所になっております。
0:07:43	府の第 6 回補正の経時期の変更につきましては、もともと第 6 回補正 につきましては、建物構築物関係の、
0:07:52	当初すべてを補正できる時期として 9 月を設定しておりました。
0:07:58	次回の
0:07:59	審査会合でも説明いたします漂流物衝突荷重の設定等、
0:08:04	の検討に時間を要したことから、一部の図書、具体的には防波壁の強 度計算書等になりますが、
0:08:13	2、2 時間の作成に時間を要しております。
0:08:18	また、10 月であれば、第 7 回補正で予定しておりました、機器配管関係 の耐震強度計算書の、
0:08:28	前田をせるものがあるところを踏まえまして第 6 回補正は 10 月 中旬、
0:08:36	とさせていただきます、
0:08:37	このような、図書数の変更となっております。
0:08:43	後程説明いたしますが、
0:08:46	説明工程には影響ないものと、この第 6 回補正の時期の変更は説明 工程の影響ないものと考えております。
0:08:53	それでは丸。
0:08:58	6 の資料をもちまして、
0:09:02	説明工程を、
0:09:04	説明いたします。
0:09:17	まず先ほど説明いたしました第 6 回補正の変更時期変更。
0:09:23	変更した箇所をご説明いたします。
0:09:27	下の方になります強度に関する説明書のうち、4、津波がたいすへの配 慮が必要な施設の強度計算書の防波壁のところをご覧ください。
0:09:41	こちらが、
0:09:43	赤色の四角、ひし形で 1-9 と 1-5 というものがございます。
0:09:49	こちら前回のヒアリングにおきましては、両方 9 月に資格を設定してお りました。
0:09:56	9 月から 1-9.1 の方を説明予定としておりました。
0:10:01	第 6 回補正の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:03	時期変更に伴いまして、マル、四角の 1 の後、主な説明事項のナンバー1-5 の漂流物衝突荷重の設定の設計結果につきましては、
0:10:15	10 月の中旬以降と、
0:10:19	ところで説明開始ということを考えております。
0:10:23	この 1-9 の防波壁の設計方針につきましては、耐震計算書を排気の耐震計算書、
0:10:33	その上の方の基本の、
0:10:38	耐震性に関する説明書の 4 の浸水防護施設の耐震性に関する説明書の防波壁。
0:10:45	いうところ。
0:10:46	と合わせて、
0:10:49	設計方針について説明させていただきたいと考えておりますので、
0:10:53	9 月からの説明ということに関して、変更はないということで、第 6 回補正、
0:10:59	この時期変更結果の説明工程に与える影響はないと考えております。
0:11:05	第 7 回から第 6 回に、
0:11:08	前倒しできる機器配管系の
0:11:12	耐震計算書につきましては、
0:11:15	耐震性に関する説明書のうち 3 の機器配管系の耐震規制に関する説明書
0:11:23	に含まれておりまして、
0:11:26	この
0:11:29	説明工程上は見えてきませんが、早く第 6 回に前倒したものは、
0:11:35	第 6 回補正以降、速やかに説明を開始していきたいと考えております。
0:11:44	資料⑥の説明は以上。すいません。第 6 回補正、
0:11:50	この時期変更に関しては以上で前回のヒアリングからの
0:11:55	変更点をご説明いたします。
0:12:01	説明工程の上の方から説明いたします。4、
0:12:06	施設共通の説明書の 4 の津波への配慮。
0:12:10	先ほど申し上げましたが 1、1-9 につきましては 9 月となっていたんですが、9 月上旬だったところは 9 月中旬以降ということに変更させていただいております。
0:12:25	施設共通の 12 の健全性の、
0:12:29	下の別添、保管場所及びアクセスルート、
0:12:34	につきましては、前回、9 月までというところでしたが、今回 2 月までと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:41	いうふうに説明工程説明期間を延長させていただいております。こちらに関しましては、保管場所及びアクセスルート、
0:12:55	連絡通路等の耐震評価。
0:12:59	この保管、
0:13:01	場所アクセスルートの中で説明が必要というところで、
0:13:05	それを踏まえまして
0:13:08	その説明開始が12月頃になりそうというところで、
0:13:11	そっからの説明期間を確保して2月までというところに変更させていただいております。
0:13:21	へえ。
0:13:22	あと施設個別の説明書に移りまして、
0:13:27	8番の原子炉格納容器内の漏えい監視装置並びに計測範囲につきましては、8月にもヒアリングを実施させていただいて、コメントが残っておりますので9月までと。
0:13:39	いうところを変更しております。
0:13:43	あとは耐震性に関する説明書、
0:13:47	市の耐震設計の基本方針、
0:13:51	2の耐震設計上重要な設備を設置する施設の耐震性、
0:13:58	4の浸水防護施設の耐震性に関する説明書、
0:14:05	また強度も、
0:14:07	4の津波または溢水への配慮が必要な施設の強度計算書につきましては、先ほどのコメント回答。
0:14:14	で説明しておりますが、これらを含む項目すべてを包絡する、説明機関として行ったところそうになっていなかったもので、包絡する説明期間に変更しております。
0:14:28	説明工程の説明は以上となります。
0:14:32	最後に、⑦の資料をお願いいたします。
0:14:43	詳細スケジュールになります。前回からの変更を式で示しております。
0:14:52	1ページ目の、
0:14:56	上の方ですが津波への配慮に関する説明書は先ほど申しました、主な説明事項の説明時期を9月の上旬から中旬に変更ということで、全般的に、
0:15:08	先ほどの⑥の資料と整合するように修正しております。
0:15:14	1ページ目の、
0:15:17	捕獲数、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:19	北設楽辺になりますが、保管アクセスに関しましては、
0:15:23	12月のところに、補足説明資料で丸を打っておりまして連絡通路等の耐震評価を、
0:15:30	こっから説明予定というところで、
0:15:34	説明期間を延長させていただいております。
0:15:40	その他、第6回補正、
0:15:43	を変更した影響で
0:15:48	第7回だったものを第6回に持ってきて、
0:15:52	いるといった修正をしておりますが、
0:15:54	ちょっと修正にミスがありましたので、ご説明いたします。
0:16:01	修正したのも、また審査会合資料と、
0:16:05	一緒に提示いたします。
0:16:08	6ページ目。
0:16:11	になります。
0:16:20	目録番号6-大町6-2の5-4-1。
0:16:25	残留熱除去系の耐震性についての経産省。
0:16:30	ポチャン。
0:16:31	熱交換金が残っておりますがそちらが6回補正としておりますが、こちら、
0:16:37	7回補正、
0:16:39	の、
0:16:41	になります。
0:16:45	6-2-5の5-5というのがもう少し下の方にありますが、低圧原子炉代替注水系の耐震性についての経産省、こちら7階となっておりますこっちは前倒しする案件ですので、6階に修正いたします。
0:17:03	その下の方いきまして、6-2-6-7-3。
0:17:09	通信連絡設備の耐震性についての計算書。
0:17:12	こっちは3図書が第6回となっておりますが、1図書7になります。
0:17:20	7ページをお願いいたします。
0:17:30	中ほどのところ、6-2-9-4の5-1、非常用ガス処理系の耐震計算書になりますが、こちら第7回となっておりますが第6回に前倒しする案件ですので、第6回といたします。
0:17:45	あと6-2-10、
0:17:48	1-2-1と、
0:17:50	6-2の中の1-2-2。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:54	6-2 の中の 1-4 につきましても、前倒し案件ですので 6 回に変更いたします。
0:18:00	下の方参りまして、
0:18:02	7 ページの下の方ですね、6-2-10-2 の 16、水槽水系の耐震性の
0:18:10	ケースについての経産省こちらも前倒し案件ですので、6 回に変更いたします。
0:18:19	修正箇所が行っており、
0:18:21	大変失礼いたしました。
0:18:24	詳細スケジュールの説明は以上です。全体に関わる説明は以上となります。
0:18:31	規制庁のハツリです。
0:18:33	はい。それでは、スケジュールについて確認する点がある方お願いします。どうぞ。
0:18:44	規制庁皆川です⑤の資料。
0:18:48	の対応状況のパワーポイントなんですけれども、3 ページ。
0:18:56	第 6 回補正というのがこれまで久我通に予定されてたと思うんですけれども、10 月中旬に事業者としては延期をしないと。
0:19:08	ということだと思うんですけれども、今しがた、口頭で説明はありましたけれども、なぜ遅れるかっていうその理由、考え方は資料上明記すべきじゃないかと思うんですけれども、いかがでしょうか。
0:19:26	中国電力の内藤です。
0:19:29	はい。その理由につきましては、
0:19:33	口頭での説明となっているイメージできておりませんので、ウエキ、
0:19:37	することで検討したいと思います。以上です。
0:19:41	規制庁皆川です検討をお願いします。その上でちょっともう一度確認なんですけれども、
0:19:48	今の説明の話、なぜ遅れるかっていう話なんですけれども、説明を聞いた限りだと、もともと建物構築物、
0:20:00	能補正をすべて 9 月、
0:20:03	被保数、この第 6 回補正でやる予定でしたと。
0:20:07	んだけれどもそれがすべて提出されるできる時期が 10 月中旬なのでそれで遅れますと、
0:20:16	遅れる理由は建物構築物関係の図書が遅れてるから、
0:20:21	という理由だけでいいですか。
0:20:26	中国電力の内藤です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:28	そのご認識の通りでございまして建物構築物関係の一部の図書について、
0:20:35	先ほど申し上げました防波壁の強度計算書等について、
0:20:39	一部にはなりますが、10月に、
0:20:42	やはり入るとい見込みですので、10月に変更させていただくというものになります。以上です。
0:21:12	規制庁の江崎ですが、その建物構築物が、
0:21:16	何で遅れるかっていうそもそもの原因って何ですか。
0:21:25	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:21:29	協力衝突荷重については、すでに計算しておるんですけども今回
0:21:37	協力衝突荷重それと対策工、それによって
0:21:42	防波壁側扉側にどういった荷重がかかるのか、そういったところの今再度整理をしております、そういったところの強度計算書の方2のところ
0:21:58	遅れます。
0:22:00	それはなぜ定まらないんですか。
0:22:02	遅れてるんですか。
0:22:05	はい。中国電力のヨシツグです。今回荷重については我々としては衝突解析を使って、ある程度
0:22:15	先行サイトとちょっと違う、新しいやり方で荷重を今求めているところでございます。そこの中の解析上のばらつきですとかエンジン衝突への影響声、これらの今、
0:22:26	評価結果をもって最終的な荷重を決めるということで少し時間がかかったというものでございます。規制庁の江崎です。
0:22:35	パラメータ再度ケーススタディーってもともと見込んでる話だから、
0:22:39	それって基本的に遅れる理由にはならず、殊、
0:22:42	金もSOA聞いている話からすると、
0:22:45	そのエビデンスなる実験っていうのがあるその土木学会という機関で研究しているものを、
0:22:53	を、
0:22:54	基本を参考として、検証、
0:22:58	またはその条件を設定しようとしているので、それがオープンになる、またはそれを開示される時期に、
0:23:07	この果樹の設定っていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:12	影響はさ、影響される後のものなんですよ。
0:23:17	それがようやく近々公開される。
0:23:21	ゆ予定も見えてきて、それもある程度公開を前倒ししていただいて、先方の機関に、
0:23:29	と言ったとしてもある程度そのクローズしてる期間もあったので、基本的には
0:23:35	全体のこの共用物衝突荷重を、の妥当性、エビデンスを作り込む。
0:23:42	のに時間が遅れたと遅延したと、いうことがそもそもの理由というふうに私は根本として、根本の理由として理解してますがそれでよろしいですか。はい。中国電力のヨシツグでございます。今おっしゃられた通り、
0:23:56	新しくやってる解析について、
0:23:59	衛藤新しく実験での論文が出ております。その論文で出ている。
0:24:04	もの、
0:24:06	の実験の衝突解析や衝突実験等我々がやってる解析胴部スイッチ等の妥当性の確認というところに、
0:24:14	江藤論文の公開等の時間を要したところもありまして、時間がかかったというところでございます。以上です。
0:24:21	一方でちょっとこれ工程の話なんです、
0:24:25	粗相か中が定まった上で解析してるわけじゃなくて改めて、
0:24:31	計算し直すということで送れるというふうに理解していますがそれでよろしいですか。ただ荷重がある程度変わってるんだと思うんですよ。再度いろいろとエビデンス加えて、
0:24:43	さらなる
0:24:45	必要なエビデンスを加えたことによって荷重が多少変わっていることによって、実際に設計荷重が変わってしまったんで、設計を再度計算し直してるってことが、
0:24:55	行為として出ると。それまではある程度見込みで考えた果樹で走っていたので、ある程度工程を引いていたと。それが荷重がかかったがゆえに、再度計算し品を再計算する必要が出て、
0:25:09	遅れてる。そういう理解でいいですか。はい。中国電力のヨシツグでございます。今江崎さんがおっしゃられた通りでございます、
0:25:16	考え方等については変わっておりませんのでそれについては、速やかに説明の方していくんですけども、改めて再度計算した結果の部分について少し時間がかかっておりますので申請について、時間が、
0:25:29	ちょっと遅れているというものでございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:33	ちょっと長くてすみませんが、規制庁とエザキですけども、
0:25:37	あと、遅れるといったものは、建築は割と肅々と進んでいるというふう に認識していて、一方で土木っていうのは、前段の方針だとか、
0:25:47	条件ってのは大分確認進んできて、もう、
0:25:51	収束気味だというふうには感じてはいるんですが一方で計算書っていう のが、
0:25:56	1個も出ていない状況で、どのように計算されているのかというのはわか らない状況なんですけど、全部が遅れるというわけじゃなくて、図数字 計算されて我々に提出できるような、それに整えた段階ではもう、
0:26:11	早めにお見せてくださいという話はさしていただいているのでそれは、
0:26:15	値ある程度段階ブロックで出されるという単位で出されるっていうふう に考えていいですか。はい。中国電力のヨシツグでございます。今おっしゃ られた通り、
0:26:27	貿易で言えば今、逆T擁壁のものを出示しております。それらに付随して 今我々が考えている考え方が論点になっているもの。
0:26:35	で、
0:26:38	はい。屋外重要構造物については代表の構造物、
0:26:41	箱型であれば取水槽にダクトであれば、江藤、それに代表するようなタ ンク等の構造物そういったものを、まず最初にご説明をさして我々 がどう考えているのかというのをご説明させていただく準備を、
0:26:53	今9月末以降、随時説明をしていこうということで考えております。以上 です。
0:27:02	書類自身は、9月末になんないと出てこない。そう。一番しょっぱなの計 算結果を駄目だって言ってるんですけど、そこまで待たないとあかんの かっていう話を簡単に言うと、
0:27:15	今月末に出しますとか言ったらわかんないけどさ。うん。
0:27:18	はい。中国電力のヨシツグでございます。ちょっと十分なるべく早く出し たいと思っておりますのでまた
0:27:27	でき次第ご説明させていただきたいと思います。基本的には生煮えのよ うな状態だとちょっと話がね。
0:27:33	混乱するからそれはやめていただくとしても、基本的にはそれはかなり 頑張ってくださいしかないとかなと思いますけど、多分、
0:27:42	屋外重要構造物から1個
0:27:44	図書が出てきてないっていうと、私としても、この後、
0:27:48	9月から行って半年間で、全部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:52	収束するのかなっていうのをかなり懸念はしています。
0:27:56	だからできるだけ早目にそれは出す努力はしていただきたいと、でき、
0:28:01	はい、中国電力ヨシツグです。了解いたしました。
0:28:09	規制庁の服部です。他に確認する点があればお願いしますどうぞ。
0:28:21	清とチギラです。6番の資料の説明工程。
0:28:26	で、前回のコメントに対する回答については修正されたことについては確認いたしました。
0:28:35	それで、ちょっとお願いというかですね今江崎が話したことにもちょっと関連するんですけど、
0:28:42	添付書類のこのA3の資料の下の方に大金性と、ちょうどに関する説明所がありますけど、ここは添付書類の数も大部になっております。
0:28:56	それで、実際、経産省、今幾つ全体の放送に対して幾つ、
0:29:06	上とかで、コメント対応済みとかですね、やっているんですけど、そういう状態のものが幾つあるのかっていうのはですねちょっと情報としてですね付与していただきたいなど。
0:29:18	いうふうに思います。具体的にはこのタイ喫煙に関する説明書、その下に
0:29:25	1から6まで、小項目があって、一番であれば耐震設計の基本方針で、これは添付書類だと10、
0:29:35	幾つあると思うんですけどそれに対して、今、事故ぐらいはコメント対応済みですよっていう、
0:29:42	というようなことがですね、わかるようにしていただく備考欄にですねちょうどここを空欄になってますので、
0:29:49	そこにですね、
0:29:51	状況を見えるようにしていただきたい。23456についてもですね同じような形で対応する土砂に対して幾つ説明できているのか
0:30:03	まだ途中、補正も、
0:30:06	途中だと思いますのでそうん。あまり対応済みなものはないとは思いますが、それをですね
0:30:15	失礼していただければと、いうふうに思います。強度についてもですね、同じような形で、それで今大金星で1から6までありますけど、この
0:30:25	カテゴリーに入らないものがあればですねサノたとかっていう形で、全体のボツ、⑤の資料の母数と合うような形でですね、ちょっと
0:30:35	整理していただきたいというふうに思いますので、
0:30:38	ちょっとそこをお願いしたいんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:43	中国電力の内藤です。
0:30:46	ご趣旨理解いたしました
0:30:50	どのぐらい、コメント対応済みとなっているのか。
0:30:54	ちょっと示せるように検討したいと思います。以上です。
0:30:58	はい。よろしくお願いします。
0:31:07	規制庁皆川です。続いて⑥の説明工程ですいません少し確認したいんですけど、
0:31:17	先ほど、第6回の補正が遅れることで、説明工程上には経験ありませんというような、実質影響はありませんというような説明だったと思うんですけど、
0:31:30	ちょっとすいません具体的に教えていただきたいんですけども。
0:31:34	説明工程上、第6回の補正が9月から10月中旬に遅れることによって、この説明工程のA3の評定を、
0:31:45	変わったのは、
0:31:47	一番下ら辺にある強度に関する説明書No4 ポツの防波壁。
0:31:55	の1-5の、ひし形のところが、9月から10月に、
0:32:02	ずれましたっていう理解でよろしかったでしょうか。
0:32:07	中国電力の内藤ですそのご理解の通りでございまして、
0:32:11	ELOCA補正、
0:32:12	9月から10月になったことによる変更点は、
0:32:15	そちらの一步、強度の防波壁の1-5。
0:32:19	だけになります。以上です。
0:32:22	皆川です。とりあえずリース関係はわかりました。その上で、
0:32:27	ちょっと確認なんですけどもう第6回の補正が遅れる。
0:32:35	ことによって影響がされる項目、さっきのその防波壁の1-5以外にも、
0:32:41	前回の審査会合で示していたその説明期間でいうと、多分、青い点線だと思うんですけども、そこから今回、
0:32:52	赤い点線を見るとですね、他の項目でも、後ろ倒しになってるものが幾つかありますと、例えば
0:33:06	施設個別の説明書10号の排気塔の基礎、
0:33:13	とかですね。
0:33:14	21の原子炉格納施設の基礎とかですね。
0:33:20	あとその耐震性に関する説明書でいうと、3ポツの機器配管系の話で、サプレッション・チェンバとかですね。
0:33:30	他にも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:35	赤い点線が後ろに行ってるものがあるんですけども、これらは全体的にどういう理由で、後ろに行ってるんでしょうか。
0:33:47	中国電力の内藤です。
0:33:49	全体的な話でいきますと、
0:33:53	審査の進捗で、当社、
0:33:56	御説明が時間かかっているところについては、
0:34:02	遅れているというところはございます。
0:34:04	また
0:34:07	当社として、コメント回答どのぐらいの期間が必要かというところを、
0:34:12	しっかり精査し、当社として考えた上で、延ばしたというところもございません。
0:34:18	と
0:34:19	排気塔の基礎と原子炉格納施設の基礎についてはまだ説明会してないものになりますが、ちょっとこちらは本社側から、
0:34:27	回答できませんでしょうか。
0:34:34	中国電力の落合です。江藤サイトウの木曾藤、原子炉格納施設の基礎については建物の耐震計算書になりますので、これについては、工認図書としてはもうすでに提出済みになります。
0:34:48	で、これにつきましては、この全体の工程表で言いますと、耐震性に関する説明書の2番の耐震設計上重要な施設を、
0:34:58	設置する施設、耐震性というところの、まず地震応答解析があってそのあと耐震計算書という流れでご説明させていただく中で、今
0:35:12	地震応答解析の論、主な論点ですね申し送り事項に関するところを説明させていただいているという状況も踏まえまして、ちょっと前半としてまずは、
0:35:22	ニシモト解析があって、それを踏まえた耐震計算書という流れになろうかと思っておりますので、こころのちょっと審査の進捗状況とかを踏まえまして、
0:35:33	ここの上のところですね、配当と配当の基礎と原子炉格納施設の基礎は、変更させていただいておりますけども、下の方の耐震性との、全体の流れのこの
0:35:45	順番も踏まえたところとちょっとリンクするような形で、修正させていただいたもので、購入当初としてはもうすべて提出をしておりますので、あとちょっと縦横で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:57	説明はご説明させていただきたいと、そういうふうを考えております。以上です。
0:36:03	規制庁ミナカワわかりました。その前段で説明するあれですかね。だから耐震性に関する説明書の2ポツ、建物構築物の地震をどけず、地震応答解析。
0:36:17	のところが踏まえて、
0:36:21	排気塔の基礎であったりとか、格納施設の基礎というのを説明するので、
0:36:27	それで後ろに延ばしましたとそういう理解でよろしかったでしょうか。
0:36:34	中国電力の落合です。その理解で問題ございません。
0:36:38	もう少し細かく言いますと、事象度経産省の方で論点が二つありました付着と入力地震動という二つ論点がございまして、まずこれの今回、今入力の方は今ご説明してる最中ということでございます時間審査会合案件です。
0:36:53	それを踏まえた、次建物構築物の耐震計算書の説明の中に、この配当の基礎と原子炉格納施設の基礎も含まれて、当初としてはその、
0:37:04	関係性がある、同じ当初のような形になりますので、
0:37:08	建物構築物のタイ耐震計算書の中で、この二つを合わせて説明させていただくということで、リンクさせリンクしてる形で修正しております。以上です。
0:37:18	皆川ですわかりました。もう一つ、
0:37:24	例示として散歩Ⅱ機器配管系のサプレッション・チェンバのはなCを挙げたんですけどこれについてはこの守衛さんの資料を見る限りも説明を開始していつてことだと思んですけども、
0:37:36	これはだから、単純に当初予定していたよりもヒアリングの進捗状況を踏まえる等、もう少し、
0:37:44	ヒアリングの方も説明完了するまで時間を要するなあということで引き直してるとそういう理解でよろしいでしょうか。
0:37:55	はい中国電力のク라마スです。サプレッション・チェンバの耐震性のご説明につきましては、はい。今お読み取りいただきました通り、赤線の方
0:38:06	説明開始いたしましたので7月から実線で引かせていただいております。まさにはい今ご審議いただいている最中ということになります。今後もヒアリング、審査会合等でしっかりご説明して参りたいと思っておりますけども、
0:38:20	これまでの廃校いったやりとりの中でやはり当社としても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:26	現実的なところでしっかり審査の計画を立ててということで考えまして、 今のはヒアリングでいただいている確認事項等の状況なりも踏まえま すと、
0:38:36	やはり現実的な審査期間としましてはこのぐらいの期間を確保する必要 があろうということで見直したところでございます。
0:38:43	はい。以上です。
0:38:45	はい。規制庁ミナカワえさんとりあえず事実関係はわかりました。はい。 私からは以上です。
0:38:57	規制庁の服部です。
0:38:59	他、確認する点があればお願いします。
0:39:05	よろしいでしょうか。
0:39:08	はい。
0:39:09	それではスケジュールについての確認は以上としたいと思います。
0:39:13	少し早いですが次時計の確認に入りますけれども、時計の準備があり ますので、ここで一旦休憩に入りますので、
0:39:24	土建の準備が整い次第再開したいと思いますので、
0:39:28	お願いしたいんですがよろしいでしょうかどうぞ。
0:39:37	中国電力田川です。承知いたしました。
0:39:42	規制庁の服部です。はい。それでは、一旦録音を停止いたします。
0:39:50	規制庁のハツトリです。
0:39:52	それでは島根 2 号機、設工認についてヒアリングを再開いたします。
0:39:57	ちょうど土建関係の人たちがそろって準備が整いましたので、ただいま から再開をしたいと思います。
0:40:06	それではまず中国電力の方から、土建関係の説明の方法について説 明をお願いしますどうぞ。
0:40:14	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:40:17	江藤。資料を用いましてまず、パワーポイントの方の資料ですけれど も、1-2。
0:40:25	1-81-9 の各項目についてご説明をさしていただきたいと思ひます。
0:40:30	漂流物の衝突荷重の設定の 1-5 につきましては、
0:40:34	一番最後に、補足説明資料とあわせて、
0:40:39	補足説明資料のコメント回答とあわせてご説明したいと思いますので順 番としては今の行ったものでございます。各項目ごとに、説明と質疑応 答を分けてご説明さしていただきたいと考えております。以上です。
0:40:55	規制庁の服部ですはい、わかりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:58	それではまず一つ目の項目から説明をお願いしますどうぞ。
0:41:04	はい中国電力渋谷です。それではまず初めに資料番号 8 番のうち、建物構築物の地震応答解析における入力地震動の、
0:41:14	評価について前回 8 月 5 日のヒアリングでご指摘いただいた箇所を中心に説明させていただきます。
0:41:21	3 ページをお願いします。
0:41:25	詳細設計申し送り事項ナンバー 2 の回答の一つ目のパラグラフについて、前回の回答では、建物規模や施設の重要性を踏まえて、
0:41:35	原子炉建物を代表すると記載しておりましたが、ここでは代表建物を選定する根拠を示すことを医師と意図しているため、今回建物規模や施設の重要性を踏まえ、代表建物を選定すると記載を適正化しました。
0:41:51	それに伴いまして資料番号 2 番の回答整理表 1 ページの詳細設計申し送り事項ナンバー 12 の回答も、同様に適正化しております。
0:42:02	続きまして、資料番号 8 番、
0:42:05	4 ページをお願いします。
0:42:09	詳細設計申し送り事項ナンバー 5 の回答について前回の回答では全周期体に着目した回答と、
0:42:17	建物の主要な固有周期に着目した回答に分けて回答を記載しておりましたが、内容に重複する箇所があったため、今回の回答では内容を集約して記載しました。
0:42:30	続いて 9 ページをお願いします。
0:42:36	9 ページではタービン建物を例に 1 次元波動論と二次元 FEM モデルの比較を行っておりますが、前回の回答では、図 3 に二次元モデルしか記載しておりませんでしたので、
0:42:49	今回図 3 の両括弧 C に 1 次元波動論で用いている解析モデルを追記しております。
0:42:56	またそれに伴い、両括弧 A と B の図のタイトルを適正化しております。
0:43:03	続きまして 12 ページ及び 13 ページをお願いします。
0:43:09	12 ページの図 11 と。
0:43:12	13 ページの図 12 では、
0:43:15	最高等価振動数を 20Hz とした今回購入モデルと、最高等価振動数を 50Hz としたモデルの比較を行っておりますが、
0:43:24	EW 方向の 25 から 30Hz より高振動数領域において、50Hz 10 日モデルの応答が、今回購入モデルより大きくなっている事を明確にするため、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:36	当該箇所を赤丸で囲んでおります。
0:43:41	続きまして 14 ページをお願いします。
0:43:46	ここでは 50Hz 投下モデルによる機器配管系への影響検討のフローを示しておりますが、前回の回答では、図 13 の左側に示した、
0:43:56	応答比率、50Hz、等価耐震条件、
0:44:01	条件比率に関する説明がありませんでしたので、今回、注記でそれぞれの説明を追記しております。
0:44:09	また、図 14 について、次のページに示しております表の 1 のうち、
0:44:15	条件比率が最大となる No. 6 と No.7 の条件比率 1.45 というのが、図 14 の条件比率であることを示すために、
0:44:25	14 の図中の比率、中に、比率の最大値を記載しまして、そのタイトルに比率が最大となる条件であることを記載しました。
0:44:36	続いて 16 ページをお願いします。
0:44:40	ここでは 50Hz10 日モデルによる機器配管系の影響限度のうち、簡易評価において条件比率が裕度を上回った逆止弁について、
0:44:50	詳細評価の記載の充実化を図っておりまして赤字で示しますように、評価部位は、尺 46011991 に基づき、
0:45:00	県下の逆止弁の最弱部位である操作部本体取付ボルトを選定し、
0:45:06	構造強度評価による健全性確認を実施した結果、発生応力が許容応力を下回っていることを追記しました。
0:45:16	また、逆止弁と評価部位である操作部本体取付ボルトの位置関係がわかるように、図 15 に逆止弁の詳細図を追記しました。
0:45:26	資料 8 番の入力地震動の評価に関する説明は以上です。
0:45:31	規制庁の服部です。それでは、入力地震動の評価について確認する点がある方お願いしますどうぞ。
0:45:42	規制庁のハツトリですではまず私から 1 点。
0:45:46	1 次元波動論と 2 次元 FM 解析を用いた日、日、
0:45:54	評価については、今回パワーポイントについては 1 次元波動論のモデル。
0:46:00	を追記していただいたんですけども、
0:46:03	これ補足説明資料の方には、追記がない理由は何でしょうかどうぞ。
0:46:12	中国電力の落合です。1 次元波動論のモデルにつきましては、虚偽工認の添付書類に記載しているものを、
0:46:19	がありますのでちょっとそれをパワーポイントのようにちょっとかなり簡略化した、デフォルメしたような形で記載させていただきましたので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:30	ほぼワードの補足説明資料の方にはですねちょっと記載をしております。以上です。
0:46:36	規制庁の服部です。
0:46:38	1次元波動論等2次元波動論の比較をするときわあ、
0:46:43	欠カーで比較するのはそうなんですけど、やっぱり条件もきちんと比較をしナイトウ。
0:46:50	その資料としての体裁が整ってないと感じるんですけども、
0:46:54	いかがでしょうかどうぞ。
0:47:00	中国電力の落合です承知いたしました補足説明資料の方にもですね1次元波動論のモデルをですねタービン建物と廃棄物処理建物ですね。
0:47:12	伊豆例を追加するようにしたいと思います。以上です。
0:47:17	規制庁のハツリですはいわかりました。それでは、1次元波動論と2次元FEM解析の比較を行っている評価については、
0:47:26	1次元波動論のモデルを、補足説明資料で明確になるよう記載を適正化することとして、コメントいたしますのでよろしく申し上げます。他にあればお願いしますどうぞ。
0:47:44	規制庁、植木です。
0:47:46	16ページ、お願いしますと資料8の16ページ。
0:47:51	逆止弁の動的機能維持評価の詳細評価の内容を追加していただいたんですけど、
0:48:01	dポツの二つ目の矢羽根のですね、
0:48:08	ナンバー13の弁は地震時に動的機能の要求がない逆止弁。
0:48:17	であることから、
0:48:19	うんっていう記載があるんですけど。
0:48:22	ちょっと地震時っていう言葉が非常に、
0:48:27	曖昧で、これは私の理解だと、
0:48:35	地震中地震中に、
0:48:38	動的機能の要求がない逆止弁であって、さらに
0:48:44	そういう弁逆止弁なので地震力に対する
0:48:50	開閉状態維持。
0:48:54	の、確認の不要である、そういう弁なんじゃないかなと思ったんですけど。
0:49:00	ちょっと今のこの記載、地震時に動的機能の要求がないっていうのはそもそも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:07	動的機能維持要求がないベンダーっていうふうに呼んでしまわないかなっていうふうに思ったんですけど、いかがでしょうか。
0:49:28	はい。中国電力のクラムスです。
0:49:30	はい。まず、
0:49:33	当社の伊佐伊井で表現したかった意図についてははい植木さんにもご理解いただいている、今お話あった通りでございます。表現としてはここで地震時に動的機能の要求がないと書きましたのが
0:49:47	真木蓮太医師のヒアリング等でご説明させていただいております弁の動的機能維持評価の要求を整理したような資料の中では、地震の真っ最中に、
0:49:58	ということを経済時に、と言って地震が終わった後に機能が維持できているというのは地震後にというような形で書いておりますのでここでは
0:50:06	地震の真っ最中に連続的にその会議時閉所の機能維持が要求されないということを他の資料の表現と合わせて地震時に動的機能の要求がない。
0:50:18	逆止弁ということで記載をさせていただいたところです。ただハイご指摘の通りここ単品で、この表現を読んだ時には、
0:50:28	地震の最中にということではなくて地震に対してそもそも動的機能維持要求がないみたいなそういう誤解を招く表現にもなっているということはいご指摘の通りかなと思われましたので、少し記載については、誤解がないように、
0:50:43	正確にお読み取りいただけるような表現を工夫したいと思います。はい。以上です。
0:50:49	規制庁、植木ですはい、お願いします。今の点は明日、
0:50:54	事前のヒアリングで、まさにこここのところことについて資料が出ていますけどそちらの方の資料は、先ほど、
0:51:05	戸谷クラムスさんが言われたことがはっきり書い、書いてあるので、
0:51:12	こちらの資料のですね誤解がないような書き方に修正をお願いします。それからですね
0:51:25	当間小0の足。
0:51:28	ターのそのヒアリングで細かいところの確認はしますけれども、
0:51:34	そもそもこの考え方っていうのは、地震後に
0:51:40	逆止弁の機能が果たせばいいっていうことで地震中は不要だっていう、
0:51:46	ことなんですけど、
0:51:50	考え方については昔から、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:53	$\alpha \beta$ っていう言い方で、アルファが地震中に運転しなきゃいけないとベーターは地震後に、運転すればいいっていうさうい、
0:52:03	定義は、二つに分かれていますと。
0:52:09	いう、そこは昔からあったんですけど、ただ、
0:52:12	昨日辞表カーにおいては地震後に要求されるもの、
0:52:18	であったとしても、一応、地震時の荷重とそれから運転時の荷重ってのは足し合わせた上で、
0:52:25	詳細評価等をやるっていうのが、従来のやり方でしたと。
0:52:31	そう。そのやり方等今回は全く変わるん。
0:52:37	変え評価法自体を変えるっていうことを、
0:52:41	だと思んですけど、それに関して、ちょっと詳細は明日確認したいんですけど、今の時点でちょっと答えられ、
0:52:49	ることがあれば、
0:52:52	説明をお願いします。
0:52:59	はい、中国電力のクラムスです。
0:53:01	はい。植木さんからのお話にありました通り実施動的機能維持の要求 $\alpha \beta$ と整理した時の、まずは今回の逆止弁については、ベーター地震後の
0:53:11	機能維持要求がある弁だというふうにもまず整理をしております。
0:53:16	その上でそういったベーター要求の弁についての評価方法としましては、浜詳細は明日ご説明いたしますけれどもまず構造強度評価、
0:53:26	におきましては植木さんのご認識の通り、ベーター地震後の動的機能維持要求のものであっても、アンゼンガワニといいますか
0:53:38	地震の荷重と組み合わせたような評価で構造強度評価を行うと。
0:53:43	いうことで実施をしております。で、一方この逆止弁につきましては
0:53:49	これもはいご認識の通りでございますけれども当社として
0:53:53	逆止弁の評価方針として特にご説明しておりますところとしてはDた要求の弁については、地震の最中にこの逆止弁が一時的にガチャガチャと開閉してしまうようなそういったことに関しては、
0:54:07	許容するということで甲斐地平人みたいなところの確認についてはベーター要求なのでそこは省略するという点がおそらく
0:54:19	ご審査いただく上での説明のポイントになるかというふうに考えております。はい。以上です。
0:54:25	規制庁、植木ですはい、わかりました。詳細は明日確認します。ちょっと気になったのは要求上は、地震後でいいんですけど、例えば

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:37	地震を終わった後に動作した。
0:54:41	しましたと。そう。そのとき、そのあとにですね、SSではないにしても余震が来たときに、まさに
0:54:52	動作中にSsに近い地震動を受けることになる。
0:54:58	実際はそういうことはあり得ると思うんで、
0:55:01	そういうこと、ことに対してどう考えるかっていうのはやはり、
0:55:08	答えられるようにしておく必要があつてですねちょっとそれも踏まえて多分、
0:55:15	従来は評価上は
0:55:19	地震後であったとしても地震自動運転時の荷重を組み合わせるっていうのはその背景にはそういうこともあるのかなというふうに私は思っていて、
0:55:30	いうふうに思ってますんで、それに関しては明日ちょっと確認をさせていただきます。
0:55:37	あとですね、
0:55:40	それから同じ 16 ページで、
0:55:47	今評価部位として操作部本体取付ボルト、
0:55:53	取付ボルト部が一番余裕が小さいということで、その結果が載っているんですけど、ちょっと
0:56:03	他にですね評価部位、
0:56:06	地震後であったとしてもですね評価部位、
0:56:10	があると思いますので、ちょっとその評価した部位については、
0:56:16	記載を、結果ではなくてその部位ですね他にどういう分を、富三田、見た上で最弱部位がここなんですという、
0:56:27	ことでですね表、ちょっと評価部位を列記していただきたいんですけど。
0:56:46	はい中国電力のクラムスです。はい。評価部位の記載については承知いたしました。ここでは矢羽根の二つ目で記載の通りですけども条約 4601199 一番。
0:56:58	の方を参照いたしまして、試験管の逆止弁については、こちらの操作部本体取付ボルトが最弱の評価部位ということで選定されておりますそれにのりつた評価を実施しております。
0:57:11	それ以外についても代表以外の評価部位についても記載を充実させるということで承知いたしました。はい。以上です。
0:57:20	規制庁植木ですはい。よろしく願います。私からは以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:28	規制庁のハツリです。他、入力地震動の評価について確認する点があればお願いします。
0:57:36	よろしいでしょうか。
0:57:38	では入力地震動の評価についての確認は以上とします。では次の項目をね、の説明をお願いしますどうぞ。
0:57:48	はい。中国電力の高松です。それでは資料⑧のですね、1 ページにあります 1-8 のですね、設計地下水の設定についてご説明させていただきます。
0:58:00	前回 8 月 5 日のヒアリングでコメントをいただきましたその修正箇所についてご説明させて、順次ご説明させていただきます。それは 39 ページをお願いします。
0:58:16	はい。39 ページのですね、詳細設計申し送り事項のですね、一番をお願いします。
0:58:23	前回ここで前回ヒアリングのですね、建物構築物のコメント回答欄に、地下水位低下設備に期待する旨を追記することといったコメントをいただきまして、
0:58:35	今回回答欄の②ですね、右側の回答欄の②の周期部分の通りですね原子炉建物等の建物構築物については、
0:58:45	地下水位低下設備の効果を期待する条件での予測解析結果より、設計地下水を高く設定し、建設時の溶融圧力を考慮するというふうに、記載の適正化を図りました。
0:58:57	続きまして詳細設計申し送り番号の 2 番のほうをご確認をお願いします。
0:59:03	ここでは前回ヒアリングでですね、非常解析のコメント回答欄における再現性に関する記載を適正化することといったコメントをいただいております、
0:59:13	解答欄のですね、3 行目周期部分のところになりますけど、地下水の計時変化に対する再現性には、地表面の浸透による影響が大きいことを確認したというふうに記載の適正化を図りました。
0:59:28	それでは続きましてですね 40 ページの方をお願いします。
0:59:34	ここで 4、前回ヒアリングでですね、地下水位低下設備の既設と新設の維持等を追記することといったコメントをいただいております、図の 1、左下の図の 1 の通りですね、地下水位低下設備の配置図を追記しまして、ドレーン及び揚水井戸の既設新設の位置関係がわかるように、
0:59:54	適正化を図りました。
0:59:56	それでは続きまして 41 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:07	はい。41 ページフローを示しているページですけども、これは前回ヒアリングでモデル化の方針について、予測解析モデルの妥当性を確認して地下水位を設定することがわかるように記載を適正化することといったコメントをいただいております、
1:00:22	これ一番上ですね青は食う内になります。青枠内のモデル化の方針って書いてあるところの 2 ポツ目にあります通り、
1:00:32	解析モデルの妥当性を確認する、再現解析を実施した上で将来的な施設配置を考慮した予測解析を実施するというふうに、記載の適正化を図りました。
1:00:43	1 ページ飛びまして 43 ページをお願いします。
1:00:52	ここでは前回ヒアリングでですね、屋外重要土木構造物の集水機能に寄与する、ドレーンのモデル化について新設と既設のドレンを考慮しないことが明確になるように、記載を適正化することといったコメントをいただいております、
1:01:06	二つ目の矢羽根に記載しております通り、原子炉建物等の建物構築物に対する要則解析では、ドレーン括弧新設を管理として考慮する。また、
1:01:18	屋外重要土木構造物等に対する予測解析では、ドレーン括弧新設a. 既設を管理として考慮しないというふうに木曾汽船記載の適正化を
1:01:30	図りました。
1:01:31	続きまして飛びまして 46 ページをお願いします。
1:01:41	はい。46 ページではですね前回ヒアリングで設計地下水位が低い場合の影響検討について記載を追記することといったコメントをいただいております三つ目の矢羽根へのところで周期部分ですけども、
1:01:55	なお建物構築物及び屋外重要土木構造物等について地下水位低下設備新設の効果により、平常時の地下水位は設計地下水より低くなることを想定され、低くなると。
1:02:08	想定されることから、地下水位が低い場合の耐震評価に与える影響を県、影響検討を行うというふうな記載を追記しました。
1:02:18	ここまでのところで設計地下水位の設定のうち、設計地下水の安全余裕の考え方及び保守的な設定方針に関する修正箇所の説明は終わりました、
1:02:30	西郷になりますけど、前回この 46 ページに記載している内、シートの次のページにですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:37	液状化検討対象施設の選定結果としまして、液状化検討対象施設及び解析手法の選定フローと、その例示を2、2シートにわたってご説明させていただきます。
1:02:51	これにつきましては現在施設選定の考え方に加えまして構造物の選定結果が審議中であることから、今回の司会后資料からは外させていただきます。5時後日回答とさせていただきますことにしました。
1:03:05	設計地下水の設定に関するご説明は終わります。
1:03:09	規制庁の服部です。それでは設計地下水位の設定について確認する点がある方お願いしますどうぞ。
1:03:22	よろしいでしょうか。はい。
1:03:24	では設計地下水位の設定についての確認は特にないようですので、これで終わりたいと思います。では次の項目について説明をお願いしますどうぞ。
1:03:56	規制庁の服部です。次の項目は防波壁のAの内逆T擁壁の地盤改良の解析用物性値に関する説明となると思いますけれども、
1:04:08	これについては、本社側からの説明なのかそれとも対面側の側の説明なのか。
1:04:14	よろしくをお願いしますどうぞ。
1:04:19	はいすいません。中国電力のユリです。
1:04:22	1-9の防波壁の逆T擁壁改良地盤の解析用物性値につきましては、前回のヒアリングにおいて突然適正化に関する修正がございましたので、
1:04:34	説明事項についてはございません。以上です。
1:04:40	規制庁のハツリですはいわかりました。それでは、はい。防波壁の逆T擁壁の地盤改良の解析用物性値について確認する点がある方、お願いしますどうぞ。
1:04:54	規制庁の江エザキですけれども、1点事実確認だけです、56ページの、
1:04:59	最後の二つ目の矢羽根で、品質確認の結果については、
1:05:04	施工の進捗を踏まえ、今後、設工認審査で説明するっていうことになっているんですが、これは審査とヒアリングの中では当然聞くことになると思うんですけど、
1:05:15	実態として、
1:05:16	会合をするのかしないのか、そこちょっとを明確にしてもらえますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:26	はい。中国電力のユリです。前回同様のご回答させていただきました繰り返しになってしまうんですけども、基本的にはヒアリングの方で、
1:05:37	まず、物性試験の結果ですね、それに基づいてどうだったかっていう、回答させていただければと思ってます。
1:05:45	それを踏まえまして
1:05:47	想定から大きく値が外れるようなことがもし万が一ありましたら、会合に諮りわけになることから、ことも考えたいと思っています。以上です。
1:05:58	規制庁の江寄ですな、何とかこれ尻切れトンボになってるんで、これだけっていうわけにはいかないと思うんですがそもそも逆T擁壁。
1:06:06	の話で、どこか跨ぎ、今後、審査会合で、
1:06:09	逆T擁壁を審査会合で説明する予定は、
1:06:14	ございましたら、その中で、まるで紹介。
1:06:17	こういう結果だったというか、無事完了してることは一応宣言しといた方がいと思いますがいかがですか。
1:06:29	はい。江藤中国電力の李です。もう一つ、ご指摘の件承知いたしました。
1:06:34	次回以降のですね会合に合わせてご説明できるタイミングで取りまとめた経過も整理してお示したいと思っています。以上です。
1:06:47	規制庁のハツリですはいわかりました。他に確認する点がある方、お願いします。解析用物性値について確認する点がある方お願いしますどうぞ。
1:07:00	よろしいでしょうか。
1:07:01	はい。それでは地盤会改良地盤の解析用物性値の事実確認については以上としたいと思っています。では次の項目の説明をお願いします。どうぞ。
1:09:42	中部電力本社からイタイガワです。
1:09:45	藤。
1:09:47	音声はこっちは届いてませんが何か、
1:09:51	発言されていますでしょうか。
1:09:54	規制庁の服部です。はいすみません。こちらの
1:10:00	中国電力は対面側のマイクが少し調子が悪くて、マイクが入っていませんので、
1:10:06	大変申し訳ありませんけれども対面側について再度説明をしていただくか、本社側としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:15	今機関部の方の説明をしていますけれどもそれについては、承知しているのです、
1:10:22	聞かなくてもいいということでもよろしいでしょうかどうぞ。
1:10:28	中国電力イタイガワです。はい。こちらをこのまま続けていただければと思いますのでよろしくお願いします。市長の服部ですすみませんえーとですね駄目ですね。録音に入っていないと思いますので、
1:10:42	透明性の観点からもう一度説明をしていただかなければいけないと思います。
1:10:50	一旦録音をちょっとと名、
1:10:55	停止いたします。どうぞ。
1:11:00	規制庁の服部です。はい。ただいまマイクの調子が悪かったので録音を一旦停止しましたが、マイク、交換しましたので6、ヒアリングを再開したいと思います。
1:11:12	誠に申し訳ございませんけれども、
1:11:15	漂流物衝突荷重の設定について、最初から説明をお願いしますどうぞ。
1:11:23	はい。中国電力の伊佐です。大変失礼いたしました。はい。衛藤社長より衝突荷重の設定につきまして、
1:11:30	まず、補足説明資料のコメント回答の方からご説明の方させていただきます。使う資料といたしましては3番の回答整理表と、9番の補足説明書資料となります。
1:11:41	まず3番の資料の7ページをお願いいたします。
1:11:49	はい。今回コメントといたしまして七つご回答させていただき予定でございますが、時間分の衝突に関しまして三つコメントいただいておりますのでこちら合わせてご説明をさせていただこうと思います。
1:12:01	まず7ページ目の37番、一番下の行ですが期間の衝突荷重の算定も含めて、
1:12:09	詳細の妥当性を説明すること、そして14ページお願いいたします。
1:12:18	14ページの107番。
1:12:20	一番下の行になります。
1:12:24	期間もちよつと影響確認として曲げ強度の影響について説明すること、そして15ページ。
1:12:30	一番上の行になりますが108番、エンジンの代表性について説明すること、この三つの
1:12:38	コメントについてご回答させていただきます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:40	それでは 9 番の資料で 289 ページをお願いいたします。
1:12:58	はい。
1:12:59	こちら添付資料 6 ということで基幹部における衝突影響確認の資料となっております。
1:13:07	290 ページをお願いいたします。
1:13:12	これは 290 ページ。
1:13:14	におきましてエンジン代表性について、コメントNo. 108 についての回答となります。
1:13:20	文章の中で、なお以降になりますが、機関部エンジンにつきましては、島根現職発電所において対象となる相当数の 19 と船舶のエンジンを基に設定をいたしました。
1:13:31	前回ご説明した機関を設置範囲といたしましては、図 2-1 でお示します通り、エンジンの剛性が大きいという、主要部についてこちらを設置範囲と考えまして、
1:13:44	そして配管等周りにございますので、安全側の観点から、これらも含めて衝突
1:13:52	するというふうに仮定をしてご説明をしておりました。
1:13:55	今回ちょっとエンジンの期間分の代表性という観点から、配管等の剛性の小さい箇所も考慮しまして、
1:14:03	表でお示します通り、エンジンの最大寸法よりも、アンゼンガワニ駅間分の設置範囲を見直しをいたしました。
1:14:12	はい。こちらはコメントNo. 108 の回答となります。
1:14:17	続けてご説明の方させていただきます。291 ページ、お願いいたします。
1:14:27	コメントNo.107 曲げ強度による影響確認ということで、
1:14:32	前回ご説明しました資料では破壊ひずみを変更して、塑性域を考慮しない、
1:14:39	今回の資料で破壊ひずみ変更ケースというものを実施しておりました。
1:14:44	今回それに加えまして曲げ強度の変更ケース。
1:14:48	というものを実施いたしました。
1:14:50	292 ページをお願いいたします。
1:14:55	はい。表 2-2、上の表となりますがこちらの上の方、添付資料(6)の一つの影響確認というところで 2 種類の
1:15:04	ARPの構成則の絵図図を変えております。
1:15:08	あと曲げ強度変更ケースにつきましては

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:12	文献の最低値である 120MPa、こちらで
1:15:17	を設定いたしまして今回影響検討して参りました。
1:15:21	そして 294 ページお願いいたします。
1:15:27	はい。こちらから藤が破壊ひずみ変更ケース、前回ご説明したものの、衝突状況となります。
1:15:34	先ほど代表性というところでエンジンのちょっと寸法見直したというところで、少しエンジンの外径が変わっておりますが、295 ページ、
1:15:44	お願いします。の上のほうですがこちらにも横衝突、
1:15:48	こちら前回の結果と変わらず、衝突はしないというところでこの真横が最も接近する状況というふうになりました。
1:15:58	ただ、297 ページをお願いいたします。
1:16:05	はい。こちらから曲げ強度の変更ケースとなります。
1:16:10	こちらも同じくどのケースをしようとするというところで、290、
1:16:16	8 ページになりますが、の上のケース 8 と書いてあるところです。横衝突
1:16:23	こちらが最も
1:16:25	エンキ幹部が防壁にエセ設計するというケースになりました。
1:16:30	こちら見ますと破壊ひずみ変更ケースの方がより接近したという結果が確認できました。
1:16:37	そして 300 ページ。
1:16:39	お願いいたします。
1:16:45	こちらも前回使用同様ですね、両ケースとも期間分が衝突しないんですけども影響検討という観点から、衝突すると仮定してその衝突荷重期間分による衝突荷重を算定いたしました。
1:16:57	その結果、
1:16:59	へえ。
1:17:02	はかり変更ケースでは 1.42 メートル毎秒、そして曲げ強度変更ケースでは、次の 301 ページになりますが、
1:17:12	0.1 名、8 メーター毎秒という不足駆動でぶつかるというところで、こちら安全側に切り上げてまして衝突荷重の算定を行いました。
1:17:21	その結果が
1:17:25	すみません、少しページが飛びますが、305 ページお願いいたします。
1:17:36	305 ページの表二つつけております。
1:17:40	破壊ひずみ変更ケースでは、
1:17:43	FEMA式D389 吸入と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:46	は表 4-2 のところで曲げ強度変更ケースでは東出 195 吸入と、
1:17:53	両方とも道路今日少々上回ってるところで、というところでこちらの
1:18:00	値を、
1:18:01	それぞれの主機関の衝突荷重として設定をいたしました。
1:18:07	続きまして 306 ページお願いいたします。
1:18:13	期間分と全体の衝突の同時作用を考慮するために、仙台の荷重として 英語併記 1 メーターあたりの衝突荷重、こちら確認いたしました。
1:18:24	この結果、文章の中ほどになりますが、
1:18:31	図 4-1、すいませんは歪変更ケースで言いますと 56 吸入と、
1:18:36	図の 4-2 より曲げ変強度変更検査 64kN
1:18:41	というところになりました。
1:18:43	こちら踏まえまして
1:18:49	ちょっとページが飛びます、325 ページお願いいたします。
1:19:02	325 ページです。
1:19:05	こちら最後のまとめとなりますがその下の表になります。
1:19:09	こちら、期間の衝突荷重と先端の衝突荷重、
1:19:14	両方合算いたしますと、破壊ひずみ変更ケースは 445kN、強度変更ケ ースでは 25992 となりまして、
1:19:25	上の文章ですの。
1:19:27	1233 第 3 パラグラフ目の方になりますが、
1:19:34	期間分衝突影響の観点でいきますと、この破壊ひずみの設定というの が、センターは下の進行に影響があり、マーケ共同
1:19:43	よりも芳賀伊豆の方が現状であるというところを確認いたしました。
1:19:48	ですので期間衝突駅の確認としては破壊ひずみ変更ケースの 445 キロ と。
1:19:54	となります。
1:19:57	はい。こちらが今回コメントNo.107、曲げ強度の影響確認のご回答となり ます。
1:20:04	そして
1:20:06	最終的に
1:20:08	兵
1:20:09	今回は、4 ポツ 5 ポツロック本店側でご説明している
1:20:14	全体の衝突荷重 1107kNにこの 445 キドが包絡されるということを確認 いたしまして、今回衝突

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:24	荷重としては、規格影響確認含めまして、この4ポツ5ポツ6の結果が妥当というところを確認をいたしました。
1:20:32	こちらがコメントNo. 37。
1:20:36	当初いただいていた時間分の影響検討のコメント回答となります。
1:20:41	はい。以上となります。
1:20:44	規制庁の服部です。
1:20:45	それではただいまのコメント回答について確認する点がある方お願いします。
1:20:58	FRPのね期間分の寸法の代表性っていう話で、一応これ出してるんだけど、一応エビデンスを出してもらったんで290ページに、
1:21:11	代表性って言った時に、
1:21:15	何をもって代表性って書いてないんだよね。
1:21:21	だから、不
1:21:23	19tの船として、
1:21:25	相当数、
1:21:27	例えば、
1:21:30	形式、
1:21:31	エンジン形式がなぜ代表だとかいったことが記載されていないので、
1:21:36	コメントとしてはまだ十分説明し尽くしてないんですけどその辺どうですか。
1:21:41	説明できますか。
1:21:44	はい。中国でございます。はい。あとこちらにつきましては、今回島根原子力発電所の
1:21:51	近傍の船舶というところで確認いたしまして、
1:21:55	最もエンジン出力が大きいものというところで、こちらのエンジンを選定をしていますので一番大きなものと、
1:22:02	そうは何かということで、現地確認で調べているとか、何らかしかならなか中でどういったことで、
1:22:13	枠組みのっていうかね、範囲の中でし調査をして、
1:22:17	何をもって代表としたのかというそのプロセスがちゃんと分書いてないと、答えになってない、ないんですよ、言ってる意味わかります。
1:22:27	だから多分、確かどっかに書いてあった記憶あんだけど、ただ事業か何かちょっと前回聞いた記憶なんだけど、
1:22:34	形式自身が、何をもって代表なのかってこの芝の近くのゾーン。
1:22:41	関連層、対象となってる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:44	漁船を調査した上で
1:22:49	こういった、
1:22:50	規格のものが一番最大なものだったという。
1:22:54	それは重要なのか寸法として大きいものを選んだのかとかそういう話の経由とか、そのプロセスのあれが書いてないという、
1:23:04	その代表性について説明したことにならないですよ。
1:23:08	はい。中国電力のヨシツグでございますおっしゃられる通りで、
1:23:14	追記をさせていただきたいと思います。追記する中身といたしましては今回、各島根銀行漁港の調査を行いまして、19t船舶について、
1:23:27	船舶の検査手帳を確認してその型式を見ております。その中で一番重量が大きいものというので、前回ご説明をしております、さらに出力も大きいものということでそれでこの船舶のエンジンの型式から選びましたということはこのエビデンスとして追記をさせていただきたいと思います。以上です。
1:23:46	一応ですねその時には当然、この 19t、
1:23:51	が、
1:23:53	存在するところって確か名前が違ったけど、行くものだったかどこだと忘れちゃったけど、そういったところも不耕対象とする。
1:24:01	今回対象となっている。
1:24:02	漁協っていうか、漁港ですよ。
1:24:05	もう
1:24:07	網羅的に調べた上で、
1:24:09	ということになってるんと思うんですスズキとしては、そういったことがちゃんとわかるように、追記ください。
1:24:16	なんで一応コメントとしては私のコメントのやつを網羅せ。
1:24:20	ていう観点は書いてないけど、一応代表性という言葉に入ってると思うので、そこはやっぱり第 2 日も使わないから大事なので、そこはちょっとですね、丁寧に、
1:24:31	記載ください。
1:24:33	なんであそこのコメントはまだ継続ということで、はい。
1:24:41	規制庁の服部ですはい。では代表性については継続ということでよろしくお願いします。
1:24:47	他に、ただいまの機関部の衝突に関するコメント回答について、確認する点がある方お願いします。
1:25:11	規制庁タダウチでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:17	期間分の話を多少なりとも詳しくいただいて今回あれでしたっけは、はい歪変更ケースと曲げ強度変更係数を改めてやってもらったってことでよろしいんですかね。
1:25:36	はい。中国電力の宗ですはい。
1:25:39	今回前回までは橋詰変更ケースをご説明させていただきまして新たに曲げ強度変更ケースをご説明させていただきました。
1:25:48	規制庁忠。
1:25:50	そうするとあ、ごめんなさいそうするとね
1:25:55	295 ページの 5 分。
1:26:00	ケース③真横衝突は、あれこれ、これは前もこの図はあったんだっけ。
1:26:09	はい。中国電力の磯です。はい。こちら図前もございましてただちょっと先ほど上田エンジン寸法を少し見直したというところで、若干大井。
1:26:20	ものが大きくなっております。はい。以上です。
1:26:23	規制庁タダウチそうすと期間分の大きさをそれなりに入れてあげると、すごく攻撃に変える話は、
1:26:32	見えてはきちやったわけで、はい。
1:26:36	ここまでいってもやっぱり、当たりませんっていう評価っていうことなんですかねこれ当たらないっていうのは、
1:26:48	これ当たらないっていうのは間に物が挟まってちょうど当たらないっていうのカー流コツ脳上に、とりあえずがっちり止まっていたエンジンが飛び出さずに何とか持ちこたえてるっていう評価がこれどっちの評価なんでした。
1:27:05	はい。中国電力の佐田です。はい。今の理解でいいますと公社側となります。
1:27:12	チラー採取確性天神期間分相当と設定のところですね、貿易間の距離というところも、
1:27:20	追っていきましたが、あるところで
1:27:23	離れていくよう、反射して帰っていくというところを確認できておまして、
1:27:28	おります。以上です。
1:27:30	規制庁タダウチですはい、わかりました。片や曲げ強度変更計算やってはみたもののエンジンの大きさを次、
1:27:40	大体、
1:27:42	図の中に入れてもう 5 併記の方は大分距離があるっていう結果にはなかったの、そこら辺の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:50	要は材料の奉納物性値変えても、結局は当たらなかったっていう結果が出ましたっていうそういう結果になりましたと、そういう理解でよろしいですか。
1:28:05	はい。10 億円でございますはい。そのご理解で結構です。
1:28:09	はいわかりました。それでじゃ、ちょっとす。1 個だけ確認なんですけれども 293 ページのところ追記をしていただいていたと思うんですけども、
1:28:20	上の括弧 2 の小調達解析による機関部署内の確認結果というところの、
1:28:30	図の上のところの、
1:28:32	直前ぐらいな話なんですけど、
1:28:35	1000 船舶衝突時においては、センター破壊が機関部に到達する前に、機関部が船体から離れて単独で非衝突物に接触することはないと。
1:28:45	判断したと、ということが書いてあるんですが、これは何を以て指摘幹部が選対から離れないよっていうふうに、
1:28:55	評価をしたんですかね何か代表的なものをもってして例えばですよ、図面が一応あるの取り付けのボルトとかが一応、
1:29:06	大きさがサイズが書いてあるから、
1:29:09	ンボル等が破断しないですよとか、ブツブツスポ抜けないですよとか、そんな評価を具体的にやったのか、それとも、
1:29:19	何せ強固についてるから、きっと離れないだろうという定性的な話をここの言ってるのがこれ、どっちなんですかね。
1:29:29	はい。中国電力の沢です。はい。今回こちらの記載につきましては先ほど田内さんが言われた後側側の
1:29:39	考えで記載をしております。
1:29:41	エンジン強化プラスチック線規則というところで、今日の十分な強度、剛性有する期間内を介して設置することということで、
1:29:49	衛藤。
1:29:51	もう一つとっても後で飛ばない近いところでされているという観点から、
1:29:56	こういった記載をしております。
1:29:59	はい。規制庁多田です。そういった避難所にはそういったことが書いてあるっていうのは理解するんですけど。
1:30:05	そのうち、例えば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:09	書いてあるものについてはどんな状態でも離れませんってそういう条件になってるんですかな。何か今回想定した条件だと離れてくとかそういう話は、
1:30:20	何か、
1:30:22	そう相場的っちゅうか大体このぐらいだよっていう目黒小の判断もあつたりはしないんですかね。
1:30:28	単に書き物に書いてるから多分大丈夫だろうっていう、それはその文献。すいません規格に書いてあるは想定されるショートⅡの話と今回の一つの話っていうのが、
1:30:45	包絡されてるっていうものであればそれはそうなのかもしれないけどそれを相当逸脱するようなぶつけ方、壊れ方をしているような話になっちゃうと、ちょっと
1:30:55	そこら辺、条件が変わってくるような気もするんですがそこら辺の考え方を教えていただけますか。
1:31:06	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:31:09	この規則に、
1:31:12	そこまで
1:31:13	要は衝突を考慮したような設計というのは、記載はないのが事実でございます。
1:31:19	で、我々として考えたのはまず、二つございまして一つは、
1:31:26	車のエンジン等もあるんですけども、こういったエンジンで、かなりスピード出して船等が動くということでかなり
1:31:36	の期間代と、通常固定されてるところは、他のところに比べて非常に強固な固定がされているだろうというふうなことで、一つ考えてました。それともう一つはこの下の、
1:31:49	塗装水の方でございますけれども、
1:31:52	この
1:31:54	臨時について、それぞれ数ヶ所、複数箇所、ゴールドで、
1:32:01	固定されているというところが読み取りましたので、我々としては、ある程度の衝撃、直接エンジンにぶつかるような衝撃ではないということで、この
1:32:14	ボールド等が、一連、すべてのものがはかりされて飛んでいくようなことは無いというふうに、
1:32:21	あくまでも定性的ではございますが、そういった評価をさせていただきます。以上でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:37	規制庁タダウチです。
1:32:40	嘘。そうになるとねちょっとこれも、どこまでその破壊の様相を想定するか、話になってしまうのかもしれないんですけども、
1:32:52	エンジンマウントからエンジンが離れませんいわゆる船の背骨部分ともいえるその流下IIから絶対外れませんよっていう前提条件のものに今回の解析をやっていて、
1:33:06	いや変な話、例えば5激にぶつかりますよなんて期間分がぶつかりますよなんて話になると、花田瑠子つか損傷しない限りは、防壁にしようとしないうって条件にもなりかねないんじゃないかなっていう気がするんですけども。
1:33:21	それ、それだけ想定すればいいっていうそういう話になっちゃうんですかね。
1:33:30	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:33:34	はい。
1:33:37	なかなか難しい評価だと思っております。はい。で、
1:33:44	実際のこのエンジンのショート通
1:33:49	の前のところで、かなりのエネルギーが吸収されているとこれは事実だと思っております。そのためにエンジンのところでの流速エンジンそのものの、
1:34:03	ぶつかる近くのところでは、かなりその衝突速度というのが落ちているものではないかなと思っております。
1:34:10	で、
1:34:12	この意義そのものの、
1:34:15	あと、
1:34:17	流速でいきますと、
1:34:20	例えば300ページ301ページの、
1:34:24	かなり早い段階で、衛藤衝突速度が落ちてきておりますので、
1:34:30	ちょっとどの時点で、その破壊するかってのはわからないんですけども、ある程度、
1:34:35	衝突時の速度っていうのが落ちたところで、仮にボルトが外れてぶつかったとしても今、
1:34:42	我々が考えてる衝突力を大きく超えることはないというふうには考えております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:51	中国電力審議ですもう1点というか補足させていただきますとそういった後、ご懸念懸念もあったということもあってですね我々今回5ご存知かと思えますけども、
1:35:03	そのあとにですねショートするものという解析を実施してですね、仮に当たってもこのぐらいですというところをですね、ご説明しているところがございます。ただなかなかそれをですね、
1:35:16	直接的に確認するという手法手段がない中でですねまずは先ほど言ったようなところを我々と考えた上で、保守的に5、ご説明しているという、というご理解をしていただければと思います。以上です。
1:35:31	はい。規制庁多田ですさらに、期間分が当たったという前提での評価もやっているということであればそれなりに保守的なところまで踏み込んでいるっていうところは、
1:35:45	理解はしました。
1:35:46	それとあと、実際濃船のね、事故とかそういうのエンジンがエンジンマウントから吹っ飛んでたみたいなの事例って過去事例ってあるんですかね例えばそういうところも何か読み取るようなところはないんですか。
1:36:02	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:36:06	ちょっと随分前に過去の所、災害事例というのを調べたことがあるんですけども、
1:36:14	やはり、船のところに穴があくような、そういった事例が確認されておりまして、エンジンそのものが、飛び抜けてぶつかったってようなものは
1:36:26	過去のちょっと数年前ですけども、その中ではなかったというふうに記憶しております。以上です。
1:36:34	はい。規制庁多田術、とりあえず今聞いた話はじゃあ理解しました。はい。
1:36:39	了解です。
1:36:49	規制庁のハットリです他あればお願いします。ただいまのコメントに対して、
1:36:54	よろしいでしょうか。では爪次のコメントについて説明をお願いしますどうぞ。
1:37:03	はい。中国電力です。それでは続きまして、③番の資料をお願いいたします。こちらの14ページをお願いいたします。
1:37:18	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:19	すいません、ちょっとこちらで少し1点お詫びがございましてこちら13ページ目の、
1:37:28	91番、真ん中の中ほどでございましてその次は100番と繋がっております。少し番号が少し入れ違いになっております。
1:37:36	ちょっと次回修正させていただきます。すいません今回のコメント回答といたしましては、14ページ。
1:37:42	の95番、お願いいたします。
1:37:48	はい。冬状態の漂流物による衝突荷重の算定方法につきましてこれまで審査会合等でご説明していただきました津波の検討フロー、こちらの関係を説明することというコメントいただきました。
1:38:03	続きまして154ページお願いいたします。
1:38:24	はい。154ページになります。
1:38:26	あと、こちらにつきまして
1:38:30	こちらが前回、漂流物の衝突過剰。
1:38:32	算定保護選定フロー、こちらの方にちょっと記載をしておりました。
1:38:36	で、これに付け加えまして
1:38:39	先ほど全体のさのフローを含めまして津波の検討フローを追記いたしました。あと127ページお願いいたします。
1:39:05	はい。127ページになります。
1:39:08	こちらの図で新しく追記をいたしました。
1:39:12	このうち
1:39:14	スタートから行きまして右側におりまして漂流物の初期配置を踏まえた衝突荷重の算定に※1というものをつけております。前、駒田会合でご説明したものにつきましてはもう少し記載をしておりましたが、
1:39:27	ここにつきましては、これまでご説明させていただきました通り、詳細な方針というのは決まってきましたので、先ほどの見ていただいた100、
1:39:38	54ページのフロー。
1:39:39	の方に飛ぶように
1:39:42	しております。ちょっとこちらの全体のフローとしては少しシンプルな確保となっております。
1:39:47	そして、その他全体の流れは変わっておりませんが、表衝突荷重というところに米印2をつけます、協力対策を設置する場合につきましては、その荷重分散というものを考慮する、そういった旨を記載をいたしました。
1:40:03	ということで全体のフローに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:07	つきましてその算定というところにつきまして別のフロー人等とそういった関係であるというところで、
1:40:14	今回、また改めて追記いたしました。説明は以上となります。
1:40:20	規制庁の服部です。では確認する点があればお願いします。
1:40:28	はい、規制庁チギラズ、フローを追加していただいた件はわかりました。それで、127 ページのフローがこれとかとかあと、工認の初回 1 回目の会合で説明していただいたフローで、
1:40:43	そこのところの堰廃棄のところ、衝突荷重の算定っていうところが、これが今回重点的に説明するというところで、後の
1:40:53	154 ページのところ新たにフローも、
1:40:57	ルート上タイなものを作っていたというふうに理解をしました。
1:41:02	それで、ちょっと、
1:41:04	確認ですけど注記の 2 と 3 で、漂流物対策工を設置する場合ってあるんですけど、
1:41:10	これは表裏物対策工を設置しない場合ってというのは、
1:41:15	あるのかないのかちょっとそこだけ。
1:41:19	確認したいんですけど。
1:41:27	はい。中国電力のヨシツグでございます。防波壁にはすべて漂流物対策工を設置するんですけども、設置していない場所にぶつかるっていうような、
1:41:38	江藤、例えば、
1:41:40	いえ、
1:41:42	かなりリアなケースですけども
1:41:44	消波ブロックが崩れてなくなって後に津波が来て、かなり根本の方にぶつかるような時と、そういったようなときには協力対策工が、は
1:41:58	被服いうの。
1:42:00	杭の上の方に今設置を考えておりますので、そういったないところにぶつかるっていうようなところという意味で、
1:42:07	設置するしないというよりはないうところにぶつかるっていうのが、ところでも、一応評価を考えてますということで、ちょっとそういった使い分けをさしていただいております。以上です。
1:42:18	はい。規制庁知久です。わかりました。はい。今の説明で冷系ずそういうケースもあるということで、理解しました。はい。私から以上です。
1:42:31	規制庁の服部です。今の回答に対してちょっと 1 点だけ確認したいんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:37	私の認識では、
1:42:40	漂流物については、EL12.6メートルの1ヶ所に、
1:42:45	ぶつけるという理解をしてたんですけども、今の説明を聞く限りでは、その他のケースとして、いえる12.6メートル以外のところにも、
1:42:57	作用する秤量衝突があると。
1:43:01	設定した時の評価も行う。
1:43:05	というふうに理解をしたんですけどそれでよろしいでしょうかどうぞ。
1:43:08	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:43:11	12.6は今の日本カトウ委員から、
1:43:15	考えているものでございます。
1:43:18	前面海域の場合にはSsの地震動が起こった後に津波が来るということで、その前面の
1:43:27	消波ブロックが期待できない場合もあるだろうと、そういった時にはかなり低いところにぶつかってくるということもございますので、そういった12.6はもちろん、標準ケースでやっていくんですけども、
1:43:40	そうじゃない場合の低いところの、各部位で影響がある。
1:43:45	ものについては、低いところでも評価をしてご説明をしていきたいというふうに考えております。以上です。
1:43:53	規制庁のハツリですはい。わかりました。ではどこの、いえる幾つ2部、ぶつかるかというのはその影響程度を考慮して、いろいろと
1:44:04	理由というか、根拠をつけて、設定した上でその評価を行うということで、理解をしまして、その
1:44:14	具体的なその位置とかそういうのについてはまた漂流対策防波壁の耐震性
1:44:21	イヤー強度評価の方で確認をするということでここでは確認しませんけど、いろいろとやってみるということで理解をしました。
1:44:28	よろしいでしょうかどうぞ。はい。中国電力のヨシツグでございます。今おっしゃられた通り、各部位、あの厳しいところがどこかというのをまず我々としてご説明して、そこで、
1:44:39	さらに本当に厳しいところについて結果をご説明していきたいというふうに考えております。以上です。規制庁のハツリですわかりました。他あればお願いします。
1:44:49	よろしいでしょうか。では次お願いしますどうぞ。
1:44:55	はい、中国電力の伊佐です。
1:44:57	続きましてまた、3番の資料にあります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:00	15 ページお願いいたします。
1:45:09	3 番の資料 15 ページ。
1:45:13	の中ほど 110 番。
1:45:16	になります。
1:45:18	エフアールビー仙波ガス被災を対象であるに対しまして衝突荷重の分布が左右対称となっていない理由について説明すること。
1:45:27	となりますこちら 9 番の資料で 176 ページお願いいたします。
1:45:45	176 ページあります。
1:45:47	こちら中ほど少し下の方に書いておりますが、選手につきましては複雑な形状していることから、失礼いたしました。一番下の
1:45:58	文章にあります船舶の形状左右対称であることに対して、衝突荷重が左右対称となっているようについて添付資料 11 に示すというところで、
1:46:07	記載をしておりますして 349 ページをお願いいたします。
1:46:13	下から最後から、
1:46:21	349 ページです。
1:46:23	はい。
1:46:23	今回、新たに添付資料 11 ということで衝突荷重の非対称性に関する確認というものを、
1:46:31	つけて参りました。
1:46:32	衛藤さん。
1:46:34	仙波の計上されている対象であるに対して荷重が採取対象となると、その要因というところで、衛藤図 1 の下の文章、
1:46:44	になりますが、衝突解析につきましては溶解法により、
1:46:51	今回剛性の大きい被衝突対象とする際の衝突物の材料非線形性を考慮した衝突荷重が算定できると、そういったものになっております。
1:47:00	溶解法といい、
1:47:02	というのは、
1:47:04	ある時刻における運動方程式を直接的に解く手法でありまして、収束計算は行わないものとなります。
1:47:10	ですので自覚ある時刻 t におけるヨウ素の発生応力等を踏まえましてその次の時刻 T プラステレビにおけるヨウ素の発生応力、
1:47:21	シュトウが算定されるというふうなことになって、計算がされております。
1:47:26	一方、この衝突解析を実施する解析プログラム、今回で言いますとLS-DYNAI になります、こちらのプログラム内におきましてその処理桁数というの上限が決まっております、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:37	その計算時間が長いほど、
1:47:40	各要素の計算書における微小な違い、これが知久崎されます。これの蓄積によってその左右対称となるべき要素によってもその発生応力等が異なりまして、
1:47:53	衝突物の左右の破壊状況に差が生じると。
1:47:56	というのが要因というふうに判断をいたしました。
1:48:00	そして、これの確認のために、次のページ、
1:48:04	350 ページになりますが、少し船舶、
1:48:09	よりももう少し単純な形状のものでも、同様の傾向にあるかということを確認して参りました。
1:48:14	350 ページになります。
1:48:17	衛藤FRP製の箱。
1:48:19	方、形状、位置書き
1:48:22	1 筧 1 朝一ミリそういったものの
1:48:26	作りましてこちらで厚さ 1 ミリでエース 1 メーター/secで来、
1:48:31	ぶつけると。
1:48:32	そして被衝突物はこの
1:48:35	図にあります通り右と左の 2 枚の防壁といたしまして、ちょうど中心に境界部に当たるように、
1:48:42	ショートさせた場合の荷重というのを確認しました。こちらが 351 ページ。
1:48:48	なりまして、
1:48:51	ちょっと大分軽いものですのでちょっとへ衝突状況、あまり変形がわかりにくいものですが、下のグラフ、図 4 となりますが、こちらでいきますと、
1:49:01	防波壁右側で発生しているものが 1949 と。
1:49:06	江藤英語併記左側で発生したのが 199 年度ということで、こういった単純なものでも数、若干の差が出ているというところで、総トン数 19tと同様に
1:49:18	左右対称というような結果がえられた。
1:49:21	というものになります。
1:49:23	ということで
1:49:24	今回、我々が実施してる衝突解析の
1:49:28	というのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:30	左右 1 社ではございますが、妥当であるというふうに判断をしております。回答は以上となります。
1:49:36	規制庁の服部です。それではただいまの説明に対して確認する点があればお願いします。
1:49:48	規制庁の植田です。どうもありがとうございます。真横は用いてるんですけど、決定左右非対称になる場合って結構あるんですよね。これで十分だと思います。私から以上です。
1:50:02	規制庁の服部です他にあればお願いします。
1:50:06	よろしいでしょうか。
1:50:07	では次の説明をお願いしますどうぞ。
1:50:13	はい、ありがとうございます。続きましてまた、A3 判の資料になります。同じく 15 ページ、お願いいたします。
1:50:29	3 番の資料の 15 ページということで 111 ページ、一番、
1:50:33	FEMA式におきまして選手確保と選手傾斜部の長さ設定、この考え方を説明すること。
1:50:40	という、
1:50:41	見ていただきましたので先ほどの補足説明資料の紙で 279 ページ。
1:50:47	お願いいたします。
1:51:04	279 ページになります。
1:51:14	はい。
1:51:15	黄色の文章となっているところでございますが、選手角度、先週傾斜部の長さにつきまして、こちらにつきましては
1:51:23	相当数 19 の船舶の現地計測結果、
1:51:26	等を踏まえまして設定を行っているというところで、設定根拠のほうを記載をいたしました。
1:51:33	まず全周角度にいたしまして、Cだいたしましてはこの図の通りですね。
1:51:37	最初架空の実際では
1:51:41	その通り大体 99 度でございます。
1:51:44	こういったところを安全側に設定いたしまして
1:51:47	インダ=45 度、西田球場ちょっと
1:51:53	小さく値を設定しております。
1:51:56	そして 280 ページ、
1:51:58	お願いいたします。
1:52:01	続きまして先週経営者部、NFとなります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:06	こちら選手の軸剛性の設定につきましては、土木学会では図の 5-2 でお示しています通り、
1:52:15	衛藤、
1:52:17	この選手経営者分がすべて破壊した際にああしアッカイ荷重がPCが一定となると。
1:52:23	いうところで、が記載をされておりますので、今回、我々の衝突解析、特に船首方向につきましては、第 1 核兵器まで衝突するときに、最大所ずつ補充発生しそれ以降は、
1:52:36	荷重が低下するということを確認しております。
1:52:39	ですのでこういった関係を見まして我々として先週傾斜部につきましては選手から目立ち核兵器までと考えまして、
1:52:47	衛藤北野図の通り、
1:52:49	実際 3.24 メーター、ございますが安全側に 3.20 メーターとして
1:52:55	船首傾斜分を設定をしております。
1:52:59	こちらエセ
1:53:00	回答以上であります。
1:53:03	規制庁の服部です。では確認する点がある方お願いします。
1:53:11	よろしいでしょうか。
1:53:13	はい。それでは次の説明をお願いします。どうぞ。
1:53:19	はい、ありがとうございます。
1:53:21	別。
1:53:22	最後のコメントになります。衛藤。同じく 3 番の資料の 15 ページ。
1:53:28	お願いします。
1:53:35	最後、112 番、なりまして何を目的として擁壁 1 メーターあたりで発生荷重を評価しているのか、妥当性も含めて検討を説明することというコメントをいただきました。
1:53:49	こちらにつきまして 9 番資料の 175 ページ。
1:53:53	お願いいたします。
1:54:13	はい。175 ページにあります。
1:54:16	今回 1 メートル当たりの衝突荷重というところでこちら、
1:54:21	ご説明させていただいておりましたが局所的な衝突荷重、こちらのものになります。
1:54:26	黄色の文章にあります、局所的な衝突荷重の確保にあたっては、
1:54:32	実際に解析でですね、実用化を行う際に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:38	社長数の差異化方法、そういったことを踏まえまして退院幅となる1メートルというのをまず考えたというその目的をまずここに記載をいたしました。
1:54:48	そして少しページが飛びますが、224ページをお願いいたします。
1:55:02	そしてその1メートルの妥当性というところで224ページの、
1:55:07	直井小になります。
1:55:09	こちら、
1:55:11	図でお示しているのが局所的な衝突荷重で一番大きな値となっている時の、
1:55:19	荷重分布となっておりますが、こちら船首衝突時において、核兵器に衝突時に発生していると、この赤線が
1:55:28	1メートルの佐川で、
1:55:30	泥腔すべて出てますので6メートル。
1:55:34	の最幅となっているというところでそのうちの、まず1107という値を使うというところで、今回、局所的に衝突荷重としてこの1メートルという荷重は妥当というふうに考えております。
1:55:49	はい。そういった中でもう一つが
1:55:52	五部機の配置によって荷重が変わるんじゃないかという、
1:55:55	ポイントを少し、
1:55:59	前回いただいたかと思っております。
1:56:01	それ、そちらにつきまして345ページをお願いいたします。
1:56:13	はい。こちら今回、また添付資料10というもので、英語併記配置による衝突荷重への影響確認というものを実施して参りました。
1:56:22	はい。衛藤。
1:56:24	戸塚医長といたしましては局所的な衝突荷重といたしまして先ほどご説明した通り、1メートルあたりの荷重というところを考えております。そして、
1:56:33	また、一番大きな荷重が出ている船首方向というところは考慮してございます。
1:56:38	一方4ポツ、ポツ6、本店側でご説明している、衝突解析というのが、
1:56:44	下の図1-1の上側の方になりますが、
1:56:48	ちょうどセンターの中心を通るように防壁を設定しているというふうになってございます。
1:56:55	この船首自体はですね、複雑な形状をしているというところで、その後へきの配置によって荷重が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:03	加来土肥れる荷重が変わるんじゃないかというところ、懸念がございますので、今回少し5平均の配置を見直したもので、
1:57:11	解析をして参りました。その結果、
1:57:14	というところは
1:57:17	その後平均配置状況のところは下の図となっております。
1:57:20	結果といたしましては346ページお願いいたします。
1:57:28	文図が二つございまして、上側の方が、もともと実施していたもの、第1核兵器が当たるときの
1:57:38	時0.37秒で3078kNが出ていると、こちらにつきましては防疫配置を見直してもそこは変わらないというところを確認しております。
1:57:48	下側のオレンジ色のグラフとなっております。
1:57:51	347ページお願いいたします。
1:57:55	そして五部1メートル当たりの衝突荷重の解析結果ということで本館側でご説明しているものが、五部基盤大丸さん。
1:58:04	になります。そこで1107kN、こういった荷重が出ております。
1:58:09	今回の
1:58:13	及び配置を見直したもののというのが、結果が348ページ。
1:58:17	になりまして、
1:58:18	衛藤。
1:58:20	ナカノ5平気で最大が出ましたが今回千八、九ニュートンというところで、
1:58:28	ことを確認いたしました。
1:58:30	以上より船首方向の衝突につきまして平均配置によって、
1:58:37	出てくる荷重というのは概ね同程度というところを確認いたしました。また、この1107ってのが、最もやはり大きなものとなっているということを確認ができましたので、今回、
1:58:49	局所的な衝突荷重との値というのは、妥当であるというふうに判断いたしました。
1:58:55	今回、最後のコメントの回答は以上となります。
1:59:01	規制庁の服部です。では確認する点があればお願いします。
1:59:21	すいません規制庁タダウチでございます。5、1メートル当たりにするっていう話については局所的な評価の単位としてこれを制定するっていうことは特に問題ないかと思うんですけどもちょっと、
1:59:37	すいません郷劇をちょっとずらしてなんて話をやると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:45	虫むしろなんかピークは下がってくるような話が出てきちゃったってそんな感じで、何ですかね。
1:59:52	どっちかちゅうとムーン 1000 滞納要は前の形状が一どちらかというとなんかに、うん。
1:59:58	わかってるわけではないからどちらかというともう 2 枚が 3 枚に分散しちゃうような、そんなイメージで、
2:00:04	出てきちゃった分逆に言うと 1 番目のピークが何か、400 ぐらいで 2 枚でしたのが 1 枚になると、やっぱり足し合わせの倍ぐらいの 800 ぐらいが、一瞬にして立ってるっていうところからすると
2:00:18	そういった意味では確かに
2:00:22	理屈としては、何となく解析の結果があるのかなっていう気はします図、346 ページの上下、
2:00:33	比べても、もうほぼ同じような、
2:00:37	形状が出てきていてそれをどの板で分散するかって言う話でちょっとずらしても、
2:00:44	あまり大して挙動は変わらないただやっぱり 2 枚、
2:00:48	3 番、ももとの公益 3 番 4 番で分散してしたものが、
2:00:53	ピンクのところを除けば、
2:00:56	足し合わせの値がほぼ出てきているってような結果ができてるんで
2:01:01	これすごく素直な結果が出てるのかなっていう気はしています。はい。以上です。
2:01:17	他あればお願いします。規制庁のハツトリです他あればお願いします。
2:01:27	規制庁のタニグチです。
2:01:29	一つだけちょっと確認させてください。
2:01:35	181 ページ。
2:01:44	5 劇 1 メートル当たりの最大衝突荷重発生時刻のクール層と、荷重分布ですよこれ。それで、その時刻において、各
2:01:58	孔壁ごとの、
2:02:00	衝突荷重はこうなってる。
2:02:03	いうことを負債されてるということでもいいですね。で、
2:02:07	下に書いてある、黒い実線のところは、
2:02:12	最大じゃない、他の他の 5 劇のところ、
2:02:18	出てる時刻においての衝突荷重が払われてると、ということだと思います。それで、この表がパワーポイントにも書いてあるんですけどもちょっとこの、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:29	凡例のところの書きっぷりがちょっと、
2:02:36	丁寧に書いといてあげて欲しいんですけど。
2:02:39	最大 5 兵器 1メートル当たりの最大衝突荷重発生時刻における、
2:02:47	過剰ということでもいいんですよね。
2:02:50	それを、ここに書いておいていただきたいということが一つ。
2:02:56	それ、これはほか
2:02:59	同じような表がずらずらと書いてありますし、パワポにも書いてありますので、その辺も記載をきちっと書いといてください。
2:03:08	それから、
2:03:12	324 ページ、325 ページ目のところにまとめが書いてあるイメージだと思いますね。
2:03:21	324 ページ目のところに書いてある表は、
2:03:25	表の 4-3 のところ、これは、
2:03:29	衝突過剰kNって書いてあるのは当然 1メートル当たりの
2:03:35	キド、衝突荷重ですよ。
2:03:38	それから、
2:03:39	下に、325 ページ目に書いてあるところの、
2:03:44	1000 タイと書いてあるところこれは先ほど出てきた数字の最大値、
2:03:51	交易いじめとラテのショート負荷順の事故の
2:03:55	数字かと思うので、基本的なキロニュートンパーメートルという形になるわけですよ。
2:04:03	イメージとしては、
2:04:06	ただ、FEMA式で出てきてるものはあくまでkNっていう考え方になるんだと思うんですけど、
2:04:15	これを、
2:04:16	両方足し合わせて合計は 1、
2:04:19	数字としては、
2:04:22	体系が同じって表現の仕方はできないんだと思うんですけど、
2:04:28	それを足し合わせて評価し表現しているというふうことでもいいんでしょうか。
2:04:35	はい。中国電力の伊佐です。はい。まずすいません先ほどの凡例のところはす。おっしゃる通りかと思えます荷重分布というところをきちんと書いて、修正の方させていただきたいと思えます。
2:04:48	そして

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:50	こちらにつきましては、谷さんご理解の通りでございます1メートル当たりの荷重というところになります。
2:04:57	今回こちらにつきましては
2:05:01	少々お待ちください。
2:05:08	はい。291ページをお願いいたします。
2:05:16	はい、291ページの少し下から5行目、なお以降にございますが、
2:05:22	時間分のその寸法等を踏まえまして、今回、1メートル当たりの荷重、
2:05:28	そして合算をしてセンターとキャンプの衝突荷重を考えるというふうな記載をしております。
2:05:34	ホシノちょっと1メートル当たりという記載がですねちょっと途中から消えていっているので、ちょっとこちらの誤解がないように、そういったところも、
2:05:47	か。
2:05:49	定義させていただきたいなと思いますちょっとパラメーターと書き方がいいのか、事務長あたりという書き方ちょっと全体の資料的なところも含めて考えさせていただけたらと思います。はい。よろしく申し上げます。基本的に
2:06:01	宇津小の5-1に書いてある、
2:06:05	FEMA式のところについては、こういう趣旨で1.2メートルだけで1メートル。
2:06:11	安全側に考えて入れてますということ。それから、
2:06:17	参考値のところの1107ってのもこれもう単位長さ当たりですから、1メートルあたりだと思いますけども、その辺、
2:06:25	非常に多少汗するのに当たっては扱いの仕方をこう考えたっていうことを、
2:06:32	この291には書いてあるかもしれませんが、
2:06:38	表の下に1、注記で記載をしておいてください。よろしく申し上げます。以上です。
2:06:46	中国電力の宗です承知いたしました。
2:06:52	ほか、ただいまのコメントに対して確認する点があればお願いします。
2:06:57	よろしいですか。では適正化について説明するところがあればお願いしますどうぞ。
2:07:06	はい。中国電力の伊佐です。
2:07:09	適正化につきましてはそうですね、大きなところで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:14	前回少し触れさせていただきましたが、島根現職発電所の津波としまして日本海遠縁の津波と海域活断層波源として津波、2種類ございますが、
2:07:24	漂流衝突荷重の3、
2:07:26	低におきましては、日本海島縁の津波の流速、10メートルパーセクこちらを用いて算定するということにしております。6メートルパーセクはちょっと使わないと。
2:07:36	そういったところでちょっと今回、
2:07:38	記載を6メートルパーセクもともとご説明しますというちょっとものにしておりましたが、
2:07:44	そちら記載をしております。
2:07:46	また、ちょっと適正化ではないんですが、
2:07:51	200、
2:07:53	34ページお願いいたします。
2:08:03	はい。
2:08:03	234ページの2ポツの一番下の注記。
2:08:08	というところで、こちら掲載準備中という記載になっております。
2:08:12	ちょっとこちら
2:08:14	この資料を提出するまではまだエーワンこの論文の番号というのがわからなかったんですけども8月20日、こちらでホームページアップされて、公知化されましたので、この
2:08:25	次回ご説明提出までにはこちらを含め、論文番号をきちんと書いて、交渉されたということがわかるようにしていきたい。
2:08:36	あります。
2:08:39	規制庁の服部です。では適正化について確認する点がある方お願いします。
2:08:44	よろしいですか。
2:08:45	中国電力側から新規に説明するところ、追加で説明するところがあればお願いしますどうぞ。
2:08:53	はい。中国電力の伊佐です。説明は以上となります。
2:09:00	自由ちょっと確認をさせていただけたらと思うんですが今回の米、
2:09:05	1年残ったのは、継続にさせてご説明させていただくのは、
2:09:12	108番、えんじの代表性というところという理解でよろしいでしょうか。
2:09:17	規制庁のハッタですはい。その通りだと思いますがまた振り返りの時に確認すればいいと思いますのでよろしくお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:26	対
2:09:28	課の説明がないということで、では規制庁側から資料全体について確認する点があればお願いしますどうぞ。
2:09:43	規制庁のミウラですちょっと私の方から何点か確認をさせてください。補足資料の 259 ページ。
2:09:56	てコレクター、少しその第 2 ピークとらえられなかったとか、そういうことを考え得る要因を、定性的に少し書いていただいたっていうふうに理解なんですけど、
2:10:08	ここ
2:10:10	この前から内海さん言われたんですけど継手部。
2:10:14	ていうのがね。
2:10:16	何か過ぎてブーの状況そのもののそれをどういうふうにモデル化するかっていうのが、結果に大きく影響を与えるって何かピンとこないんですけど、
2:10:26	その辺ってもうちょっと教えていただくことができますか。
2:10:33	中国電力のヨシツグでございます。今回公知化された論文の中にも少し記載がされてあるんですけども、
2:10:41	継手部のところについては、
2:10:45	今我々が考えたプラスチックの材料と、その材料の間に、木材のようなものを挟んで、継ぎ手をしているような構造が、今回の実験性の場合にはあったということでございます。で、
2:11:00	この実験線で、実際につぶれてるところのものをみるとそういった継手部が弱部になっているというふうに記載されておまして、そこで
2:11:10	ちょっと荷重のかかり方とか変位だとかそういったところが変わっているんだと、我々としては認識しております。で、
2:11:18	ただ一般線の、我々も調査をしたんですけども、そういった継手部のところを壊してまで見るということにはできませんので、我々としては強化プラスチックの規則に則った
2:11:30	標準的な
2:11:32	厚さですとかその材料というものを使って、今回モデル化をしております。
2:11:39	そういったところが論文
2:11:42	を少し特殊部位というような表現で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:45	特出ししてモデル化をされていらっしゃると思いますのでそこが大きく分けてい るのではないかと分析しております。以上でございます。規制庁の宮 です。今のお話伺っていると、
2:11:58	継手部に弱部作ることによって全体的な剛性を落としてやってるってこ となんですね。だから、
2:12:05	多分実験結果を見ると、見れ実験結果よりも、再現解析、
2:12:12	そちらで出てる再現解析の方が変形量が小さいっていうところに起因し てくるのかなってチラッとと思って聞いたんですよね。それがまた第 2pか ら折れない一つの要因になってくるのかなっていう。
2:12:23	ちょっと気がしました。わかりました継手部っていうのが、
2:12:27	そういうふうな詳細なモデル化をしてるからむしろ合成をやめるようなモ デル化をしてるといふふうに理解しました。
2:12:37	妥当、次がですね 339 ページなんですけど、
2:12:44	これ多分こちらからの指摘で、
2:12:48	こういうふうな、
2:12:49	表を作ってるんだと思うんですが、この表そのものは何の意味はないで すよね。これまだ作って出しといってもいいけども、
2:12:58	期間分、ショートしないん全体も 0 で入れて、
2:13:04	0 なんだから当然小さいよねっていう、
2:13:07	入れてもいいんだけどむしろここできちっと書いといてもらいたいことっ ていうのは、おそらくそちら言いたいことっていうのは、
2:13:16	力積っていうのは船舶の規模によって比例的に大きくなりますよと、質 量にリンクするんだね。
2:13:23	ですところが 1000 タイバーツとかす 1000、
2:13:28	潜伏。
2:13:30	ウワー。減少率がこれ小さいんだこれもそういうふうにかかれてますよ ね。減少率が小さいんだと。
2:13:35	その結論として、
2:13:37	船舶が小さくなるほど線船舶に対する破壊領域が小さくなるんだと。
2:13:44	だから、期間分がショートする可能性が小さくなるんだよ。
2:13:48	従って、機関部の衝突がないってした場合には、船舶が大きいほど、衝 撃荷重が大きくなるんで。
2:13:58	19t船舶を対象とすることが妥当なんだ。
2:14:01	ということをお願いしたいんじゃないですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:05	ちょっとこれ見るとね、一番書かなきゃいけない。おそらくコメントっていうのは、19トンの旋風じゃなくてもうちよつと16トンとか10トンとかってなんだったり小さくなったときに本当は立っちゃう可能性があるんじゃないかっていうことなんで、
2:14:20	様々それが2tというのがちょっと事例としてあったからそれにとらえて書かれてると思うんですけどね。
2:14:26	書かなきゃいけないことは今言ったように潜伏とか、それを考えたときは甲斐龍輝小さくなる。
2:14:31	同じ。
2:14:33	なんていうか、期間分がショートしないっていう前提条件だったらもう19t当然やった方がいいんだよっていうことが結論として言っていればいいのかなというふうに思うんで。
2:14:43	その辺ちょっと何か、
2:14:45	資料をそのままこれ入れるところは全然、
2:14:48	構わないんですがあまり公表そのものはあまり意味がないのかなというふうに思いました。はい。中国電力ヨシツグでございます。今おっしゃられた通り、
2:14:57	力積エネルギー、比べて、
2:15:00	実際の船の税目。
2:15:03	が、表より大きくならないっていうのが、今回、我々として理解できたところかなと。イコール壊れ方にしても、19t、
2:15:14	を見とけば一番保守的だという、安全側だということでございますので、
2:15:19	少し、最後の結論のところですね、交錯含めて、もう少し適正化させていただきたいと思います。以上です。すいませんお願いします。それと、次のページの100342。
2:15:32	なんですけどね。これ施設全体で持つよって頭分布荷重で見るとよ。
2:15:38	このときには、あれですか、対策法の荷重分散効果を見ないん。
2:15:45	ですか。
2:15:47	はい、中国電力相沢です。
2:15:50	衛藤。
2:15:51	そうですね。344ページをお願いします。
2:15:57	こちら、例として、局所的な衝突荷重の分散した、括弧書いております。
2:16:03	これでいきますと1メートル1メートルというところで、横方向の高さをこれも分散すると。で、施設全体に作用する荷重というところでは、もう横方向はすべて埋まってしまっているんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:17	横保護の広がりは見れないと。一方高さ方向の分散は、
2:16:23	対策でも見えるのかなと思っております。以上です。わかりました。これだけ読んでると、何か局所方向とね、
2:16:31	施設全体の荷重分散効果、これ全体の方がこう見ないようになってるみたいな、これ文章ね。
2:16:39	その辺ちょっと明確にしといたらいいですね。
2:16:42	分散効果を見るってということで、中身を理解しました。
2:16:46	それと、これ前からこの間もちょっと言ったんですが、この局部、
2:16:51	局部の検討。
2:16:54	ですか。
2:16:55	これ一体何をやろうとしてるんですか。
2:16:58	今、例えば 344 ページの下で、2 メーターCAQまでこう荷重が広がっていくよって分散効果見ましたってこれを用いて何をやるんですか。
2:17:13	はい。はい。中国電力の伊佐です。はい。
2:17:16	まず基本は施設全体に素養する衝突荷重だと思ってますこちらが船舶が衝突するという事象に対して、
2:17:27	今回で言いますただ、防波壁、そういったものが受ける荷重になりますので、
2:17:32	その全挿会場含めて評価していくというところだと思ってます。一方で衛藤。
2:17:38	340
2:17:40	ページの局所的は戸塚城野でもお示しておりますが、
2:17:45	その評価するときに、ある種僕もちょっと頭分布から見た格好で、表彰評価してしまうと、
2:17:53	いうところですよ。それを上回るような曲
2:17:57	へと、局所的な荷重、
2:17:59	というものがあると思ってます。
2:18:01	それから実際、今回、衝突改正確認できた。
2:18:04	できてきております。こちらでそういう、
2:18:08	その分布箇所を把握しきれないような局所的な損傷というところをきちんと把握すべきだということでこの局所的な衝突荷重というところを、
2:18:19	もう 1 回考えて設定をしております。
2:18:21	以上となります。規制庁の三浦です。
2:18:24	でね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:26	具体的にこの二名のアニメーターで分散させた、この局長荷重っていうものを、
2:18:32	どういうふうなモデルに入れて、どう調査しようとしてるんですか。
2:18:45	いや、ちょっとねこれ意味がよくわからないんですよ。
2:18:49	全体系はマーカ、こういうかけざるかけ方でね、頭分布で入れてくるとわかるんですが、
2:18:56	2メーター2メーター分散させました。この2メーター2メーターでパンチングシェアでもやるつもりなのかなと。
2:19:01	パンシェで見れば、これ当然、隣の1メーターにも荷重があるので、これは危険側の方になってしまう。
2:19:08	ですよ。
2:19:09	逆に、これ2メーター幅のキャンプ場飛び出して、
2:19:13	この荷重を与えるって言うのかと思うんだけど、それもあんまり意味がない。
2:19:20	ですよ隣にまた荷重があるっていう、
2:19:22	そうずっとこれは一体何をやろうとしているのかなっていうのが、前からちょっと理解できなくて、
2:19:30	ちょっとそこを説明していただきます。
2:19:34	はい。中国電力のヨシツグでございます。
2:19:38	まず
2:19:40	一番影響大きいのはまず漂流物対策工そのものに、
2:19:44	こういったぶつかってくる荷重というのがあると、分散する前の分対策工そのものに、
2:19:50	全体的な荷重というよりは局所的な荷重で本当にその構造物対策自体が持っているのかどうか、これがまず一つ要因として僕たちで我々が考えているところのものでございます。
2:20:01	で、そのあとに広がった荷重については、実際こういった感じになると思っておるんですけれどもその時に施設全体の荷重と見比べて、
2:20:11	どういったことになるのかというのはちょっとまだ、
2:20:13	整理を惜しみお示ししないといけないと思ってるんですけど、その時にもしこの、
2:20:18	2メーター一箇で出てくる荷重というのが、局所的な荷重として、背面の擁壁に影響を与えるのであればその結果もお示しをしないといけないということで、今考えてこういった表現になっております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:33	規制庁の三浦です。益子島田、これからってということですかね。今あるありました対策工としてね。
2:20:41	対策工が妥当であるっていうか、そのチェックにこの局部的なもの使うっていうのはね、多分パンチングシェア的な話になっちゃうんだけどその時には横方向は見ないとかね、面積として、
2:20:52	そんな工夫がなされてればいいかなというふうに思うんですよね。
2:20:56	あとこうやって広げた存在で見てしまったら逆に言うと、
2:21:00	よほどなかー、ものすごく保守的にやらない限りは、ほとんど全体の中に含まれちゃうんじゃないかなっていう気もするので、
2:21:10	少しその辺は今後、実際設計されてるときにいろいろご説明をお願いするというふうに思うんですけど。
2:21:18	マクロ的には施設全体で決めてやって、本当にローカルな部分をこの境遇でチェックするっていうふうに理解しました。それでいいですね。
2:21:27	はい。中国電力ヨシツグでございます。今おっしゃられた通りで、局部的なのでどこにぶつかるかっていうのも含めてちょっとこれからいろんなところ考えないといけないと思っておりますのでそういった中で、
2:21:40	ご説明をまたさしていただきたいと思います。以上です。
2:21:45	いや、もし何か一つの考え方とすればね、その東部にしないで全体加重 7000 何百トン変えないでね。
2:21:52	一番強いところで 1107 かに合わせてね、あと落としちゃうとかね、そんなことも一つ、全施設の設計としてあり得ることかなというふうに思います。
2:22:02	はい。
2:22:07	ノザキですけども、1 点だけ。
2:22:09	例えばこの 344 ページの図 3 の一井で見たときに、
2:22:13	この紫のね。
2:22:16	5 個。
2:22:18	がある場合とない場合と、何が変わりますか。
2:22:22	そこがわからないんだよねなんかね、いわゆる包丁で側、
2:22:27	どこを縦壁、
2:22:28	ガー、津波防護機能を一番
2:22:33	主たるあれですよ。役割として持ってるわけだけど、
2:22:38	碓井でこれがただ紫のものができたからといって、何となくぶつかった時のコンクリートが削れるとかいった部分の方コンクリートぐらいしか、
2:22:48	何か僕としてはイメージ掴めないんですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:53	ただ、やっちゃいけないっていうことでもいないし、あれなんだけど、
2:22:56	何のためこれつけてんのかなっちゃうのがよくわからなくて、
2:23:00	確かにこれ分散はするけども、さっき言ったように感知淡々なるビーム要素でモデル化したら、単なるカンチレバーじゃないですか建て替えて。
2:23:09	そうずっと曲げせん断ですよ。そう。
2:23:12	ハタの曲げモーメントはきっと変わらないでしょうし、逆に何か、
2:23:16	厚くしちゃうと、地震の時の慣性力を行って不利になっちゃうし、これは何だかよくわからないんだって、前の場合は
2:23:25	当初、根井許可で最初に考えたときは、鉄骨かなんかでそれで、
2:23:31	それが変だ変形して、ダンパーとして吸収するっていうことで、荷重前受ける荷重全体は、
2:23:38	小さくなる。
2:23:39	ていうことで解釈したんだけど今回は5にしてはいるんだけど、それが悪いってわけじゃないんだけど、
2:23:45	訳がよくわからないなと思っていて、この辺はどう、実際には、
2:23:52	今、検討している荷重で行って、
2:23:56	村崎の方コクリートつけたことによって、
2:24:00	基本的には、
2:24:02	機能保持はさ、
2:24:05	する。
2:24:06	かどうかってのは、ある程度あたりはついてるんですが、
2:24:09	何となく、いや、計算したことないですかって言われると非常に困るんですけどね。うん。一応、一応これだけやっつけばもつというあたりはついてる。
2:24:18	さっき言った、この
2:24:20	アルトなしで、今どういようなことか、これはね計算しなさいっていうことじゃなくて、考え方を聞かせて欲しいんですよ。
2:24:29	はい。中国電力のヨシツグでございます。今江崎さんがおっしゃられたように、例えば図の3-1の根元のモーメントみたいなものは、これ集中だろうが分布だろう、一緒だと我々もっております。で、
2:24:42	今回ちょっとこういった局所的なところの部分で、今回のこのものではなくて例えば杭みたいな、
2:24:51	ある程度幅を持った杭見たようなものに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:56	ズドンと、全体荷重で何本かで分散して荷重を受けるものと、1本の杭そのものに、
2:25:02	例えば、
2:25:03	1メーターで荷重がかかったほうが厳しいのかと。
2:25:06	基本的には多分全体の方でカバーできると思っておるんですけどもそういったところを、細かく評価をしていくというのと、あとは、
2:25:18	今真ん中にこう充ててるようなものをやってるんですけども、本当に真横もう少し端っこの方に当ててですね、目尻のようなものがかかったときにくいみたいなもので考えたときでも、
2:25:33	影響はないですというのを、我々として確認すべきだと思っただけ今こういう、この局所的なものをやっております。ただ、それが
2:25:42	施設に決まってくるような荷重かというそうではないとは思っておるんですけども考えるべき荷重としてはあるのかなというふうに今整理しております。規制庁の江寄です。それって、鉄筋で言うと入る金の、
2:25:56	みたいなイメージなんですよね。
2:25:58	力を分配するっていう話で考えたときに、
2:26:01	それで行った時に確かにここで、
2:26:04	ケース確かに、多重交換先ってあるけど途中交換式も壁面は、
2:26:09	RC撃退D一方でくっついてるから、多少、
2:26:14	どこであったらうと。
2:26:15	その入る金。
2:26:17	的な役割をするのであれば均等に荷重はまだ変形はねじるかもしれないけど、
2:26:23	基本的にはそこをつけたからといって別にねじれないわけではないから、
2:26:28	だからその辺もよくわからないんでね。ただ何となく厚さとしてさ裏面剥離だとかさああいうさ、あの日、
2:26:36	竜巻飛来物かぶつかって裏面剥離するとか突き抜けるとかいったことであればコンクリート厚いほうがいいんだと思うんだけど。
2:26:44	何とか何となくFRP性が突き抜けるってのはちょっと考えにくいし、この辺をなんか、
2:26:50	実際に考えたときに、ちょっと気にしているのは、
2:26:54	これがあってもつけても、別に変わりませんでしたってのはそれは別に結構なんだけど、
2:27:00	その時に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:02	この節設備施設の位置付けは膨張等では考えてはいるんだけど、それは一体物として考えるのか、そうでないのかという最後施設区分のときにさ、
2:27:15	なんかあんまり役に立たないんだけど、どういう意味合いでどういう役割、役割でつけてるんですかって言った時にその役割が何か見いだせない。
2:27:24	不
2:27:27	なかなかですね説明がつく、つかなくなっちゃうんで、単なる部材を強化するっていうんだったら、
2:27:32	支所のフーチングまで、ある程度、
2:27:37	固定した方がいいんじゃないかというような話になっちゃうかもしれないんで、そういったことを今考えてないんでしょうから。
2:27:43	その辺、どうあるべきか、よく施設部も含めて、最後の仕上りのイメージと施設群をすることによって多分、当初の
2:27:54	位置付けと近くところ書くべき、記載すべき図書の、
2:28:00	もう変わりますよね。
2:28:01	個別の設備として登録して、するのか。うん。防潮ての本当一部のかぶりコンクリートを厚くしただけという位置付けで書くのか。
2:28:10	なんかその辺がよくね、よく考えていただきたいなと思います。よろしくお願いします。
2:28:19	中国電力清水ですコメントありがとうございます先ほどから今ご説明していますけど、ちょっと我々の考え方もまだホワツとして、多分施設ごとにこの辺の考え方をお示ししないと、
2:28:32	この全体荷重で見ると、局所荷重が本当に厳しいのかという辺りはですね、なかなかご理解なかなかしていただけないと思いますんで、我々としてはこれをつけることによって差、多少なりの分散の効果というのはあると思っておりますけど、
2:28:47	もしこれ仮にそういうのがないということになればですね、先ほど江崎さんおっしゃられたように、この扱いをどうするんだというあたりも最終の落としどころとして考えてですね、評価検討したいと思っておりますんで、
2:28:59	まずお示しさせていただきたいと思っております。
2:29:30	はい。ちょっと検討して、また早めに持ってくるようにいたします。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:02	ちょっとすみません少しだけ補足させていただくとまずこの局所荷重ちゅうのがですねこの計算衝突解析をする中で、平均的なものを上回るといのがあったので、
2:30:14	ここをまず無視するというのはちょっと事業者としてどうかなというところがあってですね、ちょっと中途半端な検討になっておりますけど、挙げさせていただいております。その上で先ほど言いましたような対応をしていきたいと思しますので、
2:30:26	今後、ご説明させていただければと思います以上です。
2:30:46	規制庁のハツリです。今の話を聞いて私もちょっと一つ疑問に思いました。
2:30:51	今の話だと、例えば、ケーソンだと 20 メートルのブロック長があるわけですね。
2:30:56	船首衝突だと幅 6 メーターですね。
2:31:01	真ん中につくぶつけるのではなくて端っこにぶつけるようなあ。そう。そういうね事例が生じるような、そういう評価もやるということなんですか。
2:31:10	これは
2:31:13	何なんだろう。
2:31:14	防波壁の構造解析のところでは聞けばいいんだけど、今出たのでついでにちょっとついでと言って申し訳ないんですけど、ちょっとをお聞かせいただければなと思ったんですがいかがですか。はい。中国電力吉富でございます。
2:31:28	今のケーソンのそういうのが効いてくるというようなケース荷重としてですね、
2:31:33	全体荷重と局所的な荷重というのでそういったことを聞いてくるのであればお示しをしようと考えております。あくまでも
2:31:43	かなりスパンが大きいものになると全施設荷重がかなり大きなものとして出てきますのでそちらで評価をするのであれば、そういう比較をして、
2:31:52	施設荷重のみをご説明するというのもあると思いますのでその場所のときにまたご説明させていただけたらと思います。
2:31:58	規制庁の服部っすそれではなくて、先週と図幅 6 メートル 3000 キロルートをかけ、物理作用させるんですけど、一次系で考えれば片持ちばりなんですけど、3 次元で考えれば、
2:32:11	端っこにぶつけた場合と真ん中にぶつけた場合は当然違ってくるじゃないですか。ヨシザワの説明だと端っこにぶつけた場合のねじれの効果

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	も、影響も考慮したような設計もしますよみたいに聞こえたんですけど、そういう評価もやるんですかって聞いてるんですけど。
2:32:27	それが効いてくる構造物であれば、評価をして、ご説明しようと思っております。規制庁の八田ですわかりましたきいてくるなら評価はしてるということで理解しました。
2:32:37	ちなみに、先ほどの分散の話があったんですけど、
2:32:40	船首衝突の6メートルでぶつけたときって、
2:32:44	計算の幅って20メートルぐらいあるわけだから、
2:32:47	1メートル分散ができると7メートル角になる。
2:32:53	50センチこうセンターが7メートル角に分散しようと思えばできるわけじゃないですか。そういうことは考えてるんですか。どうぞ。
2:33:05	はい。中国電力ヨシツグです。今現在我々考えているのは施設全体の幅で、トータル荷重が一番大きくなるものを今評価しようというふうに考えております。以上です。
2:33:17	規制庁のハツリですはいわかりましたじゃ全体荷重としては変わらないから分散させてもさせなくても、
2:33:23	それは基本的には考えないっていうことで、理解をしました。
2:33:28	そうするとますます先ほどね、衝突、
2:33:33	対策工の意味というのがなかなかわかりにくくなるなと思うことで、ちょっと感じをしましたんですがそれは今後、説明があると思いますのでそこで確認したいと思います。
2:33:44	では他に、資料全体、パワーポイントも含めて確認する点がある方お願いしますどうぞ。
2:33:58	ポンプ、規制庁ハッタですPowerPoint後でしたっけ。
2:34:02	アマノ説明してないのわかりました。
2:34:05	それでは
2:34:08	補足資料全体に対して説明、確認する点がある方をお願いします。
2:34:15	よろしいですか。
2:34:16	わあ、そっか。
2:34:19	次パワーポイントの説明があるんですね。わかりましたでは次の説明をお願いします。
2:34:37	はい。中国電力清水です。はい。では残りパワーポイントの説明ということで、8番の資料をお願いいたします。
2:34:47	20ページをご覧ください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:51	こちらから漂流物衝突荷重の設定ということで前回コメント、ヒアリングでご説明した内容から変更したところを赤字でお示しておりますので、
2:35:01	そのあたりを中心にご説明させていただきます。
2:35:04	まずこちらの 20 ページですけれども、
2:35:08	詳細設計段階への申し送り事項、また、設工認の審査会合の指摘事項に対する回答ということで記載しております、こちらにつきましては、前回ヒアリングにおきまして、
2:35:20	先行炉との相違点等がわかるように、記載をする、
2:35:27	するようにというようなコメントを受けまして、一番下の方の四角二つ目、回答の欄に赤字で記載しておりますが、島根の検討としまして、その特徴としては、
2:35:39	FRP製船舶による衝突実験とその再現解析による最新の文献をもとに検討しているということを記載させていただきます。
2:35:49	また、漂流物対策法の設計方針についてどこで説明するかわかるような記載をすることというコメントがございましたので、回答のところの二つ目の矢羽根実のところにつきまして、
2:36:02	小、浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料他で説明する旨を記載させていただきます。
2:36:10	21 ページをお願いします。
2:36:14	こちらにつきましては申し送り事項に対する回答一文イトウ形式でまとめてございまして、先ほどご説明した旨を、4 番の回答欄に記載させていただきます。
2:36:26	22 ページをお願いいたします。
2:36:31	こちらにつきましては、
2:36:33	漂流物の衝突荷重の算定における漂流速度の設定について記載させていただきます。先ほど補足説明のところでもご説明いたしました通り、
2:36:43	日本海島縁部の基準津波、また、海域活断層から想定される津波、それぞれの流速をそう勘案して、速度は 10 メートル毎秒とするということを記載の変更をさせていただきます。
2:36:59	と 23 ページ。
2:37:01	の方は記載の適正化程度ですので、ご説明は割愛させていただきます。
2:37:07	24 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:11	こちら 24 ページの方は設置許可段階、また設工認の 12 月 7 日の審査会合でお示した漂流物衝突荷重を考慮する、検討フローということで、
2:37:24	それーのその記載がありませんでしたのでこちらのページに追記してございます。内容につきましては先ほど補足説明資料の中でご説明した通りでございます。
2:37:35	25 ページの方は修正がございませんので飛ばさせていただきます。
2:37:40	26 ページの方をお願いいたします。
2:37:44	こちらの方は前回でもお示しました、衝突荷重算定方法の整理に関するフローでございます。
2:37:52	上の文章の中でチェックマーク二つ目の内容につきまして、
2:38:00	冒頭申し上げたような木、
2:38:03	最新の衝突実験等の文献、こちらを用いて、衝突時、衝突解析はショート実験結果の再現性を確認できている手法であると。
2:38:15	そういったことをもって、選定しているという旨を追記してございます。
2:38:21	27 ページをお願いいたします。
2:38:26	こちらも前回と同様の記載ですが、まず、前回のコメントに、
2:38:30	前回のヒアリングにおきましてセンターの寸法に関する記載がこの
2:38:35	ワーポイント資料にはないということがございましたので、図 8、また表のように追記をしてございます。
2:38:43	28 ページをお願いいたします。
2:38:47	こちらの方は、船舶の 3 次元モデル、それから、
2:38:53	そちらに設定する物性値の設定についてご説明をしております。島根 2 号機の設定につきましては前回、記載しておりましたが、
2:39:01	先行機で類似の検討をしている女川原子力発電所の検討内、設定と比較できるようにということでございましたので、
2:39:12	右側の列に女川原子力発電所 2 号機の設定値、また根拠等を記載してございます。
2:39:20	違いとしまして破壊ひずみの設定、また応力ひずみ関係の塑性域の設定等が挙げられるものと、ということがわかるように記載してございます。
2:39:29	29 ページの方も、記載の適正化のみということで飛ばさせていただきます。
2:39:35	30 ページをお願いします。
2:39:38	こちらの方も、大きな記載の修正はないのですが、(1)衝突解析ということ、ところで、一つ目の矢羽根に、衝突解析の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:49	もう、
2:39:50	衝突解析によって何を確認しているかと、不明瞭でしたのでそのあたりを追記してございます。
2:39:59	31 ページをお願いいたします。
2:40:02	こちらには、衝突荷重、衝突解析の結果を記載してございます。
2:40:08	一つ目の矢羽根のところにおきまして、施設全体の荷重の設定その目的が、ちょっとわからない。わかりにくい記載だったということで、
2:40:22	に二つ目の文章ですね一つ目の矢羽根の二つ目の文章で、併記幅に応じて衝突荷重が作用していることから、施設延長に応じて、施設全体に作用する衝突荷重を考慮するということを記載してございます。
2:40:36	32 ページをお願いいたします。
2:40:40	前回のヒアリング資料におきましては衝突解析の検討のことしか記載ができておりませんでして、補足説明資料に記載のあった道路今日またFEMAの、
2:40:51	検討ということが抜けておりましたのでこのページにて追記しております。
2:40:57	33 ページをお願いします。
2:41:02	こちら、
2:41:04	の方は1ページ丸々新しいページになっておりまして、内容としましては期間分の衝突影響について、
2:41:13	こちらも前回のパワーポイントの資料にはありませんでしたが、島根のこの衝突解析の検討の中では、大事なものであるということで、期間分の衝突影響に関する補足説明資料の内容を追加してございます。
2:41:27	内容につきましては先ほどまでご説明した内容と同じですので割愛させていただきます。
2:41:33	34 ページをお願いします。
2:41:37	こちらにつきましては衝突、設計用衝突荷重の設計設定について記載してございます。
2:41:46	こちら、施設延長に応じた作用幅により衝突よ、設計用衝突荷重を設定するという文章だけでしたのでイメージがわかりにくかったということで、図面図 16、
2:42:00	この辺りを追記してございます。
2:42:04	35 ページをお願いします。
2:42:07	こちらの設計を衝突荷重のまとめということで、表記載してございます内容に変更はございませんが、今回は補足説明資料に飛ぶような

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:19	記載になっておりましたが、
2:42:22	この資料内で参照できるような章番号に見直しをしております。
2:42:28	最後 36 ページ 37 ページにつきましては、
2:42:32	簡単でございますが、衝突実験及びその再現解析に関する文献の記載内容をちょっと追記してございます。ご説明は以上になります。
2:42:45	規制庁の服部です。それではパワーポイントについて確認する点があればお願いします。
2:42:53	はい、規制庁チギラです。すいません。四つほどちょっと確認等したいと思います。まず 20 ページなんですけど、
2:43:07	審査会合における指摘事項に対する回答の二つ一番下の回答矢羽根なんですけど、この漂流物対策工の設計方針というのはこれは、
2:43:18	何か
2:43:22	ここ書かれてるんですけど、これはあれですね今後会合で説明されるっていう、
2:43:26	ふうに呼んでいいんですか、っていう質問なんですけどちょっと、ちょっとわかりづらくなっていう、
2:43:33	いうのとあと 21 ページのところも、回答の 4 番の、今回赤字で書いたところっていうのも、
2:43:42	補足とか、計算書で説明されるんわかったんですけど、
2:43:48	最後で、このあたりは説明があるっていうのが、
2:43:52	わかるといいかなと思ったんですけども、ちょっとそういう会合で説明される認識ですかっていうのはちょっと、
2:44:02	中国電力シミズですはい。協力II
2:44:06	対策工の設計方法。
2:44:08	につきましては申し送り事項であるということで、介護での御説明を考えてございます。はい。
2:44:16	はい、わかりました。
2:44:18	それと、二つ目からちょっと 23 ページで、
2:44:23	御説明なかったところなんすけど、
2:44:26	ここよく組み直していった時にですね、ちょっと
2:44:32	権利杭機能、漂流物っていうのは、これ、補足説明資料を読んでいけば、多分わかるんですけど、この今の
2:44:43	会合資料だけだとですね、ちょっとどこに行っちゃったんだ。
2:44:48	ていう、
2:44:49	ふに、見えてですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:52	それで、市民の都合もあるので
2:44:58	ここに支出してんじゃないは、検討いただければと思うんですけど、まずちょっと事実確認として
2:45:06	職員陸域の漂流物っていうのがどう、どう、どこで説明されてるのかっていうのをちょっと簡単に説明していただいてよろしいですか。
2:45:19	はい。中国電力清水です。少々お待ちください。
2:45:25	そう。それは補足説明資料の中でという意味でしょうか。
2:45:29	はい。
2:45:53	失礼しました中国電力清水です。補足説明資料です。ワードの資料ですので、
2:46:00	資料 9 の、
2:46:02	通しページで 100、
2:46:05	41 ページから、
2:46:09	4 ポツ 5 ポツ 3、衝突荷重として考慮する漂流物の選定という所がございまして、
2:46:16	こちらの方に、直近陸域の江藤漂流物、
2:46:23	の等の説明がありまして、具体的なものにつきましては、まずエリアにつきましては
2:46:32	ページ、通しページ 142 ページで、
2:46:36	図 4 ポツ 5 ポツ 3-1 ということで、荷揚げ場周辺というところを、直近陸域として考えております。
2:46:44	で、ちょっとページ 143 ページに漂流物の配置場所ということで発電所構内の陸域というところが
2:46:52	該当になります。右から 2 列目に配置場所直近陸域ということで書いてございます。
2:46:59	実際 544 ページ。
2:47:12	で、145 ページで、図 4 ポツ 5 ポツ 3-2 ということで直近陸域における漂流物の配置をお示してございます。
2:47:24	以上です。
2:47:27	はい。で、こういう配置になってるんですけど、実際、津波高さ等、敷地の高さの関係から、到達しないっていうのが 144 ページとかに書かれて、
2:47:42	いって、結局結論としては直近陸域にある距離物については、当間。
2:47:51	評価しないと。
2:47:53	ていう結論でよかったでしたっけ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:56	中国電力清水です。はい。そういった標高の関係と、あと、荷揚げ場に、
2:48:02	遡上する場合っていうのも保守的にそのあたりが沈下した場合に遡上するということで、そのときの遡上水深と流速等、ご説明した上で
2:48:13	結論としてはショートするものがないというふうにしてございます。
2:48:18	以上です。
2:48:19	はい。わかりましたじゃ、三宅%に。
2:48:25	あとは防波壁までの高さとか距離とか、そういうのも見てそこは、
2:48:32	対象じゃないっていうことで、はい、わかりました。
2:48:39	はい、それははい、確認しました。
2:48:42	すいません。
2:48:44	また、何番だ。8番の資料戻っていただいて、
2:48:51	あと34ページ。
2:48:54	これはちょっと記載だけの話なんすけど、この表8でですね、設計の衝突荷重っていうのが、建物の、
2:49:05	構造物の延長ごとに出ているんですけど、
2:49:09	これで
2:49:12	補足説明資料の中では
2:49:16	メーターあたりの荷重というのが出ていたかなと思って、
2:49:22	これ、
2:49:23	例えばですね⑨の227ページ。
2:49:32	これは表なんですけど、
2:49:36	いうそういうのをやればいいだけの話なんですけど。
2:49:40	この
2:49:42	この関係っていうかですね、っていうのがこの表のむ一行追加してもらって
2:49:50	ネットあたりの荷重っていうのを、
2:49:53	ヘッジしていただいた方が、
2:49:56	いいかなと思ったんですけどそこ。
2:49:59	可能でしょうか。
2:50:00	中国電力清水です。
2:50:04	確認させていただきますと⑨の資料の通しページ227ページの図4ポツ5ポツ6-39の、
2:50:13	このメーターあたりのものを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:17	先ほどの 20、34 ページの方へ追記するという事によろしかったでしょうか。はい。この 217 ページのやつはこれは、
2:50:27	あれなんすかね設計荷重ではないので設計荷重だとちょっと丸めたりとかするので、布田小Ⅱ地区が変わるかなとは思いますが、考え方としては、はい。そういうことです。
2:50:49	中国電力シミズですはい。ご趣旨理解いたしました。はい。させていただきます。
2:50:55	はい。
2:50:57	最後の 37 ページちょっと細かいんですけど、さっきの安倍さんと通まための三つ目の矢羽根。
2:51:05	その 2 行目の真ん中ぐらいに、当社解析モデルを用いた解析事項。
2:51:12	云々というのが出てくるんですけど、
2:51:16	当社が一石モデルっていうのが何者かっていうのがですね、ちょっと、
2:51:22	ちょっとわからなかったんですけど。
2:51:26	これは、
2:51:29	藤社長戸塚井関と当社解析モデルっていうのは、何が違うんですって。
2:51:39	中国電力清水です。はい。ちょっと唐突な言葉になって申し訳なかったんですが
2:51:44	どれのことかと申しますと、同じページの右上の参考図 4 ということで衝突モデルの絵を書いてございまして、
2:51:53	これは何かといいますと、同じページのこの、
2:51:58	文章の一番上の、
2:52:00	矢羽根ですね。
2:52:02	当社の解析条件、
2:52:08	の妥当性を確認することを目的に、実験生を模擬した衝突解析をするという、それを当社衝突解析と呼んでございまして、
2:52:18	その上では
2:52:20	二つ目の矢羽根ですけど、船体外形は、トヨタ他のものと同じものを用いて、センター板厚につきましては島根で、
2:52:31	当社での考えで設定しているというものを、こちらは当社解析モデルと呼んでおりますので、ちょっとその辺りわかるような修正をさせていただきます。はい、わかりました今。
2:52:43	当社解析モデルってのは 2 トン、この文献のモデルを再現したものなのか、それともガイソウして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:54	言ったものなのか、っていうのがちょっとわからなかったんですけども、この補足に説明してるのは、日本の話なので、そうなのかなと思ったんですけどちょっとそのあたり、
2:53:05	わかれば、
2:53:08	結構工夫してもらえればと思います。
2:53:10	中国電力清水です。承知いたしました。
2:53:13	すいませんそういうことなんかも、もう1個だけですね36ページの、
2:53:18	ところでこれ誤植かなっていうのが、参考図1。
2:53:22	のキャプションが、
2:53:23	その上に赤い字がですねちょっと、
2:53:27	置いてるんですけどこれは、
2:53:29	あ、失礼しました。中国電力清水です。誤植でございます。この赤字のところは削除させていただきます。
2:53:37	はい、じゃあ、私から以上です。
2:53:43	副市長のハツリですパワーポイントについて他にあればお願いします。
2:53:54	規制庁の藤川です。パワーポイントの20ページ。
2:53:59	お願いしますわ。私からは1、1点コメントなんですけれども、
2:54:06	1018回位審査会合の指摘事項の中で、検討フローの中で先行事例がないことなのかどこが新規制からとか整理してあるんですけれども、
2:54:17	ちょっと具体的に、もうはっきり言うてしまうとちょっとその何か、
2:54:20	島野衛藤先行審査サイトの女川で、何が異なるのか、どこに新規性があるのかっていうのは、ちょっとわかりづらいかと思ってます。女川のことを知らない人からすると、
2:54:34	例えばですねパワーポイントの26ページ。
2:54:38	MIMAS等、
2:54:40	ここの図6とかに衝突荷重算定方法の整理あるんですけれども、このフローも女川の審査わかってる人からすれば、
2:54:50	今回その島根のフローって、新規性があるなど。
2:54:55	衝突解析。
2:54:57	ていうのを主にしてFEMAってのは参考なんだなっていうのはわかるんですけどもなく話は変わってないのかっていうのがちょっとわかりづらいかと思ってます。
2:55:06	またパワーポイント35ページ。
2:55:09	もう、図18とかも、こういうのも女川のやつを比較すると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:15	ちょっと違った感じにはなるんだなっていうのはわかるんですけども女川のやつがないんでちょっとわかりづらいなと思います。
2:55:25	ちょっとお願いなんか今
2:55:28	衛藤。
2:55:29	甲斐 9月1日の会合までじゃないんですけども今後のヒアリングの中で、補足説明資料の中にでも、
2:55:36	この女川と島根で、漂流物衝突荷重の設定のフローについて、何が結局違うのかっていう、
2:55:45	もうちょっと何か比較わかりわかりやすい形でちょっとまとめていただいて、
2:55:51	結論としてはそのパワーポイントの20ページで書いてある、結局、
2:55:57	赤字で今回追記いただいた
2:56:00	FRP製船舶による衝突実験とその再現解析の最新の文献値をもとに決めたよってということになるんですけども、
2:56:08	女川とシモで結果何が異なるのかってちょっとちょっとわかりづらいなと思ってるんで、今後ちょっとヒアリングの中でちょっと何かまとめたものをちょっと追加いただければなと思うんですけどいかがでしょうか。
2:56:22	中国電力清水です。はい。補足説明資料の方でも女川との解析の、
2:56:30	相違点というのがわかるようにまとめたところもございますので記載箇所は考えますが
2:56:36	そのような整理はさせていただこうと思います。
2:56:39	以上です。
2:56:41	この栗城フジカワですね、開析度の相違点ってのは例えばその会合パワーポでいうと28ページ。
2:56:47	のお話かもなと思うんですけどこれはこれで
2:56:51	相違点としては非常に理解しやすいイシダなと思ってます。
2:56:55	私が申し上げたのはその前、前段階として衝突荷重のフローですよ。
2:57:00	ピーマンの扱いとか、FEMA式の扱いとかってどうなってるんですけど話がかちよっともってわかりやすいものがあればいいなと思ってるんで。
2:57:08	ちょっとそれはまた補足のほうに何か追加いただければなと思います。
2:57:12	はい。中国電力清水です。はい。パワーポでいうと26ページのこのフローとか、その辺りのことだと理解しましたので、はい。質疑をさせていただきます。
2:57:22	よろしく申し上げます私からは以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:32	規制庁の服部です。パワーポイントについて他あればお願いします。
2:57:37	よろしいでしょうか。
2:57:39	はい。それでは全体を通し今までの土建関係全体を通してa忘れたことが、規制庁側からあれば、確認忘れがあればお願いします。
2:57:51	よろしいですか。はい。
2:57:53	それではトーン
2:57:57	介護案件の土建関係について確認が終了しましたので、
2:58:02	これで本日のヒアリングを終了したいと思います。どうもありがとうございました。
2:58:08	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。